

## 2023年5月期 決算短信 (REIT)

2023年7月19日

不動産投資信託証券発行者名	ユナイテッド・アーバン投資法人	上場取引所	東
コード番号	8960	URL	<a href="https://www.united-reit.co.jp/">https://www.united-reit.co.jp/</a>
代表者	(役職名) 執行役員	(氏名) 衛門 利明	
資産運用会社名	ジャパン・リート・アドバイザーズ株式会社		
代表者	(役職名) 代表取締役 社長執行役員	(氏名) 馬舩 純一	
問合せ先責任者	(役職名) チーフ・フィナンシャル・オフィサー	(氏名) 上菌 秀一	
	TEL 03-5402-3680		

有価証券報告書提出予定日 2023年8月29日 分配金支払開始予定日 2023年8月14日

決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年5月期の運用、資産の状況 (2022年12月1日～2023年5月31日)

## (1) 運用状況

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	25,052	2.5	10,903	2.6	9,930	2.7	9,929	2.7
2022年11月期	24,433	1.0	10,627	0.7	9,666	0.4	9,666	0.4

	1口当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 経常利益率
	円	%	%	%
2023年5月期	3,204	2.8	1.4	39.6
2022年11月期	3,103	2.7	1.4	39.6

## (2) 分配状況

	1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	分配金総額 (利益超過分配金は 含まない)	1口当たり 利益超過分配金	利益超過 分配金総額	配当性向	純資産配当率
	円	百万円	円	百万円	%	%
2023年5月期	3,229	10,005	—	—	100.7	2.8
2022年11月期	3,144	9,741	—	—	101.3	2.7

(注1) 配当性向については小数点第1位未満を切捨てにより表示しています。

(注2) 1口当たり分配金と1口当たり当期純利益の差異要因は、2022年11月期においては一時差異等調整積立金取崩額 (77百万円) を加算したこと、並びに期中に自己投資口の取得及び消却により1口当たり当期純利益の計算が期中平均投資口数に基づいていることによるものです。また、2023年5月期においては一時差異等調整積立金取崩額 (77百万円) を加算したことによるものです。

## (3) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1口当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2023年5月期	723,202	360,480	49.8	116,336
2022年11月期	714,899	360,338	50.4	116,291

## (4) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	13,227	△8,656	△2,739	60,737
2022年11月期	13,211	△7,403	△10,005	58,906

## 2. 2023年11月期の運用状況の予想 (2023年6月1日～2023年11月30日) 及び2024年5月期の運用状況の予想 (2023年12月1日～2024年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円
2023年11月期	25,305	1.0	11,220	2.9	10,148	2.2	10,148	2.2	3,300	—
2024年5月期	25,273	△0.1	11,568	3.1	10,458	3.1	10,458	3.1	3,400	—

(参考) 1口当たりの予想当期純利益 (通期) 2023年11月期：3,274円、2024年5月期：3,374円

(注) 2023年11月期及び2024年5月期の分配金の支払原資は、当期純利益に一時差異等調整積立金取崩額 (77百万円) をそれぞれ加算した後の金額であることから各期の当期純利益の金額とは異なります。

※ その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済投資口の総口数

- ① 期末発行済投資口の総口数  
(自己投資口を含む)

2023年5月期	3,098,591口	2022年11月期	3,098,591口
----------	------------	-----------	------------

- ② 期末自己投資口数

2023年5月期	0口	2022年11月期	0口
----------	----	-----------	----

(注) 1口当たり当期純利益の算定の基礎となる投資口数については、25ページ「1口当たり情報に関する注記」をご覧ください。

(3) 金額及び比率の端数処理

本書では、特に記載のない限り、単位未満の端数について、金額は切捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入により記載しています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 特記事項

本資料に記載されている運用状況の予想等の将来に関する記述は、一定の前提条件の下に算出した現時点のものであり、今後の不動産等の取得又は譲渡、不動産市場等の推移、本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金及び1口当たり利益超過分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。前提条件の詳細については、後記6ページ記載の「2023年11月期（第40期：2023年6月1日～2023年11月30日）及び2024年5月期（第41期：2023年12月1日～2024年5月31日）の運用状況予想の前提条件」をご参照ください。

目次

1. 運用状況 .....	2
運用状況 .....	2
2. 財務諸表 .....	8
(1) 貸借対照表 .....	8
(2) 損益計算書 .....	10
(3) 投資主資本等変動計算書 .....	11
(4) 金銭の分配に係る計算書 .....	13
(5) キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(6) 継続企業の前提に関する注記 .....	15
(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記 .....	15
(8) 財務諸表に関する注記事項 .....	17
(9) 発行済投資口の総口数の増減 .....	26
3. 参考情報 .....	27
(1) 運用資産等の価格に関する情報 .....	27
(2) 資本的支出の状況 .....	38

## 1. 運用状況

## 運用状況

## ① 当期の概況

## a. 投資環境と運用実績

## (i) 投資環境

当期の日本経済は、ウクライナ情勢の緊迫を主因とした世界的なエネルギー及び原材料価格の高騰、それに伴う物価上昇等、不透明な状況には引き続き注視が必要なものの、新型コロナウイルス感染症（以下「COVID-19」といいます。）の収束に伴い、社会経済活動の正常化が本格化し、個人消費及び企業の設備投資の一層の回復が確認されています。特に、COVID-19の感染症法上の分類が2023年5月に五類へ変更され、回復の勢いが増しています。

不動産売買市場は、日本銀行新総裁の下でも金融緩和政策の継続が明確になったこと、欧米における金融機関破綻による信用不安の広がり等により、日本に対する国内外投資家の投資意欲は依然旺盛で厳しい取得環境が続いています。

不動産賃貸市場については、当期も全体としては概ね堅調に推移しました。

商業施設では、物価が上昇局面にあるものの、外出機会の増加や円安を追い風とする訪日外国人の増加により、売上の着実な回復がみられます。

ホテルについては、政府や自治体による旅行支援や訪日外国人の入国制限緩和により、客室稼働率は回復の勢いを増しています。

オフィスビルでは、各企業でのオフィス戦略の見直しの動きは一巡し、全国主要都市の空室率は横ばい傾向にあります。賃料については東京ビジネス地区等でやや弱含みの傾向がみられます。

住宅では、いずれの地域においても引き続き需要は底堅く、稼働率及び賃料は安定的に推移しています。

物流施設については、首都圏をはじめ全国の主要都市周辺部で供給が続いており、稼働率は弱含みの傾向にあるものの、賃料は横ばいで推移しています。

## (ii) 物件の取得

本投資法人は、当期において下表記載の3物件を取得しました。

また、本投資法人が開発事業主体として初めて取り組んだ高齢者向け住宅「グランダ宮の森」が竣工し、建物部分を追加取得しました。

物件番号	物件名称	種類 (注1)	所在地	取得価格 (百万円)(注2)	取得日
D36	グランルージュ城東	共同住宅	大阪府大阪市	1,755	2022年12月22日
E22	札幌米里物流センター	倉庫	北海道札幌市	1,177	
B50	大阪ベイトワー(注3)	事務所	大阪府大阪市	2,637	
小計(上記3物件)				5,569	
E20	グランダ宮の森(建物部分) (追加取得)(注4)	老人ホーム	北海道札幌市	1,053 (注5)	2023年5月31日
合計				6,622	

(注1) 登記簿上に表示される用途の種類のうち主要なものを記載しています。以下、同じです。

(注2) 取得価格及び譲渡価格は、取得又は譲渡に係る売買契約等にそれぞれ記載された売買価格に基づき記載しています。なお、取得価格については単位未満を四捨五入しています。また、金額には取得又は譲渡に要した諸費用及び消費税等を含みません。以下、同じです。

(注3) 取得対象は大阪ベイトワーの一部(全体比55.4%)の区分所有権を信託財産とする信託受益権の準共有持分10%です。よって、本投資法人の持分割合は大阪ベイトワー全体の5.54%です。

(注4) 2023年5月31日付で「宮の森二条開発用地」から「グランダ宮の森」に名称を変更しています。以下、同じです。

(注5) 本物件全体の取得価格は、土地部分(取得価格370百万円)と建物部分(建築工事費及び設計費等1,053百万円)の合計額1,423百万円です。

## (iii) ポートフォリオの概要

前記(ii)記載の物件取得の結果、当期末時点において、本投資法人が保有する物件は、商業施設36件、オフィスビル35件、商業施設とオフィスビルの複合施設1件、ホテル20件、オフィスビルとホテルの複合施設2件、住居26件及びその他20件の合計140件(取得価格の総額688,901百万円)であり、また、総賃貸可能面積は1,632,781.16㎡(493,916.30坪)、テナント総数は3,069となりました。

本投資法人は、稼働率の維持に努め、当期中における各月末時点のポートフォリオ全体の稼働率は、98.4%から99.1%の間で推移し、当期末時点では98.4%となっています。

## (iv) サステナビリティに関する取組

本投資法人及び本資産運用会社は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支持しており、環境、社会及び経済における課題解決及び新しい価値の創造への取組 (以下「サステナビリティ推進活動」といいます。) を通じて、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現することを目指しています。

気候変動に関する取組では、本投資法人が保有する不動産の環境認証を2024年までに延床面積ベース (底地物件を除きます。) で80%取得すること (ご参考: 2023年5月末時点75.1%) を中期目標に掲げています。また、温室効果ガス (GHG) 排出量の削減目標に関して、これまでオフィスポートフォリオのみを対象範囲としていましたが、2023年6月に対象範囲をポートフォリオ全体に拡大し、併せて (i) 2030年までにポートフォリオのスコープ1及びスコープ2のGHG総排出量を42%削減 (2021年対比) すること、及び (ii) 2050年までにバリューチェーン (スコープ3) を含むGHG総排出量をネットゼロにすること、という新たな削減目標を設定しました。その他、サステナビリティ推進活動の結果、本投資法人はESG配慮を測る国際的なベンチマーク評価であるGRESBリアルエステイト評価の2022年調査において、5段階で格付されるGRESBレーティングで最上位から2つ目の「4 Star」を、またGRESB開示評価においては最上位の「Aレベル」をそれぞれ取得しています。

本資産運用会社は2022年1月に「TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言」への賛同を表明しています。本資産運用会社各部の代表メンバーによる社内横断チームにおいて、本投資法人のポートフォリオにおけるTCFD提言に沿った気候関連リスク・機会に関するシナリオ分析を行い、分析結果をサステナビリティサイト (<https://uur-jra-sustainability.com/sustainability/>) 上で開示しています。

## b. 資金調達の概要

本投資法人は、当期において、特定資産の取得及び有利子負債の返済のため、一定の資金調達を行いました。前期末及び当期末時点における有利子負債の状況は以下のとおりです。

(単位: 百万円)

	前期末時点	当期末時点	増減
短期借入金	—	1,000	+1,000
長期借入金 (うち、1年内返済予定分)	276,903 (41,000)	284,903 (31,600)	+8,000 (△9,400)
借入金合計	276,903	285,903	+9,000
投資法人債 (うち、1年内償還予定分)	36,500 (12,000)	34,500 (10,000)	△2,000 (△2,000)
有利子負債合計	313,403	320,403	+7,000

また、2023年6月30日時点における本投資法人の格付の状況は以下のとおりです。

信用格付業者	格付内容	
株式会社日本格付研究所	長期発行体格付: AA	見通し: 安定的

## c. 当期の業績及び分配の概要

当期の業績は、営業収益25,052百万円 (前期比2.5%増)、不動産賃貸事業利益13,274百万円 (前期比6.1%増)、営業利益10,903百万円 (前期比2.6%増)、経常利益9,930百万円 (前期比2.7%増)、当期純利益9,929百万円 (前期比2.7%増) となりました。

分配金については、投資法人の計算に関する規則及び一般社団法人投資信託協会の定める不動産投資信託及び不動産投資法人に関する規則に則った一時差異等調整積立金取崩額77百万円を当期末処分利益9,929百万円に加算した金額を分配することとしました。この結果、投資口1口当たりの分配金は3,229円、分配金の総額は10,005百万円となりました。

## ② 次期の見通し

## a. 運用全般に関する見通し

我が国を取り巻く政治や経済は不透明な状況が続くと見込まれますが、COVID-19の収束に伴う個人消費を主とする内需の好調により、当期に続き次期の不動産売買及び賃貸市場も全体として共に堅調に推移することが予想されます。

本投資法人のポートフォリオは特定のASETタイプに偏ることなく構成されており、これまでCOVID-19の影響が継続していたASETタイプは着実に回復しています。不透明な状況が続く中でも不動産売買及び賃貸市場の動向を見極めつつ、社会変化に適応し得る不動産の安定運用に取り組みながら、ポートフォリオ全体の安定性を確かなものとしていくことが肝要であると考えています。

このような環境認識の下、本投資法人は今後の不動産売買市場の動向を注視しながら、多種・多様な不動産への

投資機会を積極的に捉え、様々な取得手法を駆使した厳選投資と併せて、ポートフォリオの質的改善に資する資産入替えを継続していきます。既存物件においては、稼働率の維持・向上、賃料増加や収益寄与と安定を目的とする各種条件改定、事業費用の削減等を通じて、安定運用に引き続き注力していきます。その上で、適宜、内部留保を有効に活用しながら分配金の安定を図ります。

財務運営においては、LTVコントロール、金融費用の抑制、有利子負債の返済期限の長期化・分散化、流動性の確保等、強固で安定的な財務体質の構築に努めていきます。

また、本投資法人の持続的成長、すなわち投資主価値の最大化、ステークホルダーとの信頼関係、環境・社会との共生を追求していく観点から、財務的視点のみならず、ESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（持続可能な開発目標）といった非財務分野の課題への対応にも一層注力していきます。

b. 運用状況の見直し

(i) 決算後に生じた重要な事実及びその他重要な事象

該当事項はありません。

なお、参考情報は、以下のとおりです。

A. 物件の取得及び取得資金の調達

1) 本投資法人は、下表記載の物件を2023年6月1日付で取得しました。

物件番号	物件名称	種類	所在地	取得価格 (百万円)	取得日
A45	東松戸ショッピングセンター	店舗	千葉県松戸市	2,200	2023年6月1日

2) 本投資法人は、上記1)の取得資金の一部として、以下内容の資金の借入れを行いました。なお、当該物件取得資金の不足額には、自己資金（下記B.記載の譲渡により得られる資金を含む）を充当しました。

名称	借入先	借入金額 (百万円)	利率	借入実行日	返済期限	摘要
タームローン78C	株式会社足利銀行	1,000	0.68219%	2023年 6月1日	2029年 6月20日	無担保 無保証

B. 物件の譲渡

本投資法人は、下表記載の物件を2023年6月1日付で譲渡しました。

物件番号	物件名称	種類	所在地	譲渡価格 (百万円)	譲渡日
D16	グランルージュ栄	共同住宅	愛知県名古屋	1,450	2023年6月1日

C. 返済資金の借入れ

本投資法人は、2023年6月20日に返済期限が到来した借入金（総額3,500百万円）の返済を目的として、2023年6月20日付で以下のとおり資金の借入れを行いました。

名称	借入先	借入金額 (百万円)	利率	借入実行日	返済期限	摘要
タームローン79C	みずほ信託銀行 株式会社	1,000	基準金利（全銀 協3ヶ月日本円 TIBOR）+0.22%	2023年 6月20日	2027年 12月20日	無担保 無保証
タームローン80C	株式会社 日本政策投資銀行	1,500	0.84184%		2030年 6月20日	
タームローン81C	株式会社 西日本シティ銀行	1,000	基準金利（全銀 協3ヶ月日本円 TIBOR）+0.23%		2028年 6月20日	
合計		3,500				

D. コミットメントラインの設定

本投資法人は、2023年6月26日付で以下のとおりコミットメントラインの設定を行いました。

(コミットメントラインの概要)

参加金融機関	三井住友信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行
借入極度額	24,000百万円
契約締結日	2023年6月26日
契約期間	2023年6月26日～2024年6月26日
摘要	無担保・無保証

(ii) 運用状況の見通し

2023年11月期（第40期：2023年6月1日～2023年11月30日）及び2024年5月期（第41期：2023年12月1日～2024年5月31日）の運用状況については、以下のとおり見込んでいます。

2023年11月期及び2024年5月期の運用状況の見通しの前提条件については、後記「2023年11月期（第40期：2023年6月1日～2023年11月30日）及び2024年5月期（第41期：2023年12月1日～2024年5月31日）の運用状況予想の前提条件」をご参照ください。

2023年11月期

営業収益	25,305百万円	1口当たり分配金（注1）	3,300円
営業利益	11,220百万円	1口当たり利益超過分配金	－円
経常利益	10,148百万円		
当期純利益（注1）	10,148百万円		

2024年5月期

営業収益	25,273百万円	1口当たり分配金（注1）	3,400円
営業利益	11,568百万円	1口当たり利益超過分配金	－円
経常利益	10,458百万円		
当期純利益（注1）	10,458百万円		

(注1) 2023年11月期及び2024年5月期の分配金の支払原資は、当期純利益に一時差異等調整積立金取崩額（77百万円）をそれぞれ加算した後の金額であることから各期の当期純利益の金額とは異なります。なお、1口当たり分配金は、本書の日付現在における発行済投資口の総口数3,098,591口を前提としており、以後2024年5月期末まで変動がないことを前提としています。

(注2) 上記予想は一定の前提条件の下に算出した現時点のものであり、今後の不動産等の取得又は譲渡、不動産市場等の推移、本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金及び1口当たり利益超過分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。

2023年11月期（第40期：2023年 6月1日～2023年11月30日）及び

2024年 5月期（第41期：2023年12月1日～2024年 5月31日）の運用状況予想の前提条件

項目	前提条件																										
計算期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年11月期（第40期：2023年 6月1日～2023年11月30日）（183日）</li> <li>2024年 5月期（第41期：2023年12月1日～2024年 5月31日）（183日）</li> </ul>																										
運用資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年11月期は本書の日付現在で本投資法人が保有している140物件を前提としています。</li> <li>2024年5月期は上記140物件から2024年1月31日付で譲渡を予定している府中ビル（土地部分）を除いた139物件を前提としています。</li> <li>2024年5月期末までに上記以外の運用資産の異動（新規物件の取得、既保有物件の譲渡等）がないことを前提としていますが、実際には運用資産の異動により変動する可能性があります。</li> </ul>																										
発行済投資口の総口数	<ul style="list-style-type: none"> <li>本書の日付現在発行済みの3,098,591口を前提としています。</li> <li>2024年5月期末までに投資口の追加発行がないことを前提としています。</li> </ul>																										
営業収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>主たる営業収益である賃貸事業収益については、本書の日付現在有効な賃貸借契約を基に、近隣競合物件の存在、市場動向及び各テナントとの賃貸借条件交渉状況等を勘案した上で、今後の賃料及び想定稼働率について一定の入退去影響等を考慮して算出しています。</li> <li>上記前提に基づく、賃貸事業収入の主要項目毎の予想見込み額は以下のとおりです。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主要項目</th> <th>2023年11月期</th> <th>2024年5月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃料収入（共益費含む）</td> <td>22,079百万円</td> <td>22,585百万円</td> </tr> <tr> <td>駐車場収入</td> <td>773百万円</td> <td>773百万円</td> </tr> <tr> <td>附加使用料（テナント負担水道光熱費収入）</td> <td>1,758百万円</td> <td>1,597百万円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>なお、賃貸事業収入については、テナントによる賃料の滞納又は不払い等がないことを前提としています。</li> <li>2023年11月期にグランルージュ栄の譲渡に伴う不動産等売却益310百万円を見込んでいます。</li> <li>2024年5月期に府中ビル（土地部分）の譲渡を予定していますが、不動産等売却益の発生は見込んでいません。</li> </ul>	主要項目	2023年11月期	2024年5月期	賃料収入（共益費含む）	22,079百万円	22,585百万円	駐車場収入	773百万円	773百万円	附加使用料（テナント負担水道光熱費収入）	1,758百万円	1,597百万円														
主要項目	2023年11月期	2024年5月期																									
賃料収入（共益費含む）	22,079百万円	22,585百万円																									
駐車場収入	773百万円	773百万円																									
附加使用料（テナント負担水道光熱費収入）	1,758百万円	1,597百万円																									
営業費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>主たる営業費用である賃貸事業費用（ただし、減価償却費を除きます。）については、過去の実績値をベースに、費用の変動要素を考慮して算出しています。</li> <li>賃貸事業費用の主要項目毎の予想見込み額は以下のとおりです。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主要項目</th> <th>2023年11月期</th> <th>2024年5月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公租公課（固定資産税等）（注1）</td> <td>2,146百万円</td> <td>2,154百万円</td> </tr> <tr> <td>外注委託費</td> <td>1,854百万円</td> <td>1,812百万円</td> </tr> <tr> <td>水道光熱費</td> <td>1,948百万円</td> <td>1,775百万円</td> </tr> <tr> <td>修繕費（注2）</td> <td>1,067百万円</td> <td>995百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費（注3）</td> <td>4,073百万円</td> <td>4,050百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注1） 物件取得時における取得年度に係る固定資産税及び都市計画税については、一般的に前所有者と期間按分による計算を行い、取得時に精算しますが、当該精算金相当額は取得原価に算入されるため費用計上されません。したがって、下表記載の2023年取得3物件の固定資産税及び都市計画税については、2024年11月期から費用計上されることとなり、総額20百万円を見込んでいます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取得日</th> <th>物件名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023年3月20日</td> <td>大阪ベイトワー</td> </tr> <tr> <td>2023年5月31日</td> <td>グランダ宮の森（建物部分）</td> </tr> <tr> <td>2023年6月1日</td> <td>東松戸ショッピングセンター</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注2） 運用資産の修繕費については、予想し難い要因に基づく建物の毀損等により緊急に発生する可能性があること、一般的に年度による金額の差異が大きくなること及び定期的に発生する金額ではないこと等から、各計算期間の修繕費が予想金額と大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。</p> <p>（注3） 減価償却費については、付随費用、現時点で確定していないものも含め、将来発生が見込まれる資本的支出を含めて定額法により算出しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資産運用報酬等のその他の営業費用については、過去の実績値をベースに、費用の変動要素を考慮して算出しています。</li> </ul>	主要項目	2023年11月期	2024年5月期	公租公課（固定資産税等）（注1）	2,146百万円	2,154百万円	外注委託費	1,854百万円	1,812百万円	水道光熱費	1,948百万円	1,775百万円	修繕費（注2）	1,067百万円	995百万円	減価償却費（注3）	4,073百万円	4,050百万円	取得日	物件名称	2023年3月20日	大阪ベイトワー	2023年5月31日	グランダ宮の森（建物部分）	2023年6月1日	東松戸ショッピングセンター
主要項目	2023年11月期	2024年5月期																									
公租公課（固定資産税等）（注1）	2,146百万円	2,154百万円																									
外注委託費	1,854百万円	1,812百万円																									
水道光熱費	1,948百万円	1,775百万円																									
修繕費（注2）	1,067百万円	995百万円																									
減価償却費（注3）	4,073百万円	4,050百万円																									
取得日	物件名称																										
2023年3月20日	大阪ベイトワー																										
2023年5月31日	グランダ宮の森（建物部分）																										
2023年6月1日	東松戸ショッピングセンター																										



<p>営業外費用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業外費用の主要項目毎の予想見込み額は以下のとおりです。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="363 203 1230 282"> <thead> <tr> <th>主要項目</th> <th>2023年11月期</th> <th>2024年5月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債に係る支払利息等(注)</td> <td>1,013百万円</td> <td>1,078百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 融資関連手数料、投資法人債利息等を含みます。</p>	主要項目	2023年11月期	2024年5月期	有利子負債に係る支払利息等(注)	1,013百万円	1,078百万円																										
主要項目	2023年11月期	2024年5月期																															
有利子負債に係る支払利息等(注)	1,013百万円	1,078百万円																															
<p>有利子負債</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本書の日付現在における有利子負債残高は321,403百万円、内訳は借入金286,903百万円、投資法人債34,500百万円です。</li> <li>2023年11月期に返済期限が到来する有利子負債及び対応方針については、以下のとおりです。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="355 427 1390 656"> <thead> <tr> <th>返済期日</th> <th>有利子負債の概要</th> <th>対応方針(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2023年9月20日</td> <td>借入金: 1,300百万円</td> <td rowspan="6">借換え又は投資法人債の発行により全額返済又は全額償還を予定。</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,300百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 4,000百万円</td> </tr> <tr> <td>2023年9月29日</td> <td>借入金: 10,000百万円</td> </tr> <tr> <td>2023年11月22日</td> <td>投資法人債: 10,000百万円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記の有利子負債のリファイナンス等により、2023年11月期末における有利子負債残高は321,403百万円であることを前提としています。</li> <li>2024年5月期に返済期限が到来する有利子負債及び対応方針については、以下のとおりです。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="355 770 1390 1223"> <thead> <tr> <th>返済期日</th> <th>有利子負債の概要</th> <th>対応方針(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2023年12月20日</td> <td>借入金: 1,000百万円</td> <td rowspan="10">借換え又は投資法人債の発行により全額返済又は全額償還を予定。</td> </tr> <tr> <td>借入金: 330百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 670百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2024年3月21日</td> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>借入金: 1,200百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>借入金: 1,300百万円</td> </tr> <tr> <td>2024年3月29日</td> <td>借入金: 2,500百万円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記の有利子負債のリファイナンス等により、2024年5月期末における有利子負債残高は321,403百万円であることを前提としています。</li> </ul>	返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)	2023年9月20日	借入金: 1,300百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額返済又は全額償還を予定。	借入金: 1,300百万円	借入金: 4,000百万円	2023年9月29日	借入金: 10,000百万円	2023年11月22日	投資法人債: 10,000百万円	返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)	2023年12月20日	借入金: 1,000百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額返済又は全額償還を予定。	借入金: 330百万円	借入金: 670百万円	2024年3月21日	借入金: 1,000百万円	借入金: 1,000百万円	借入金: 1,000百万円	借入金: 1,500百万円	借入金: 1,000百万円		借入金: 1,200百万円		借入金: 1,300百万円	2024年3月29日	借入金: 2,500百万円
返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)																															
2023年9月20日	借入金: 1,300百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額返済又は全額償還を予定。																															
	借入金: 1,300百万円																																
	借入金: 4,000百万円																																
2023年9月29日	借入金: 10,000百万円																																
2023年11月22日	投資法人債: 10,000百万円																																
返済期日	有利子負債の概要		対応方針(予定)																														
2023年12月20日	借入金: 1,000百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額返済又は全額償還を予定。																															
	借入金: 330百万円																																
	借入金: 670百万円																																
2024年3月21日	借入金: 1,000百万円																																
	借入金: 1,000百万円																																
	借入金: 1,000百万円																																
	借入金: 1,500百万円																																
	借入金: 1,000百万円																																
	借入金: 1,200百万円																																
	借入金: 1,300百万円																																
2024年3月29日	借入金: 2,500百万円																																
<p>1口当たり分配金</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分配金(1口当たり分配金)は、本投資法人の規約に定める金銭の分配の方針を前提としています。</li> <li>1口当たり分配金の算出に用いる期末発行済投資口の総口数は、上記「発行済投資口の総口数」欄に記載の前提条件に基づいています。</li> <li>2023年11月期の分配金については、当期末処分利益10,148百万円に一時差異等調整積立金取崩額77百万円を加算した金額である10,225百万円を利益分配金として分配することを前提としています。</li> <li>2024年5月期の分配金については、当期末処分利益10,458百万円に一時差異等調整積立金取崩額77百万円を加算した金額である10,535百万円を利益分配金として分配することを前提としています。</li> <li>運用資産の異動、テナントの異動等に伴う賃貸収入の変動又は予期せぬ修繕の発生等を含む種々の要因により、1口当たり分配金は変動する可能性があります。</li> </ul>																																
<p>1口当たり利益超過分配金</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利益超過の分配(1口当たり利益超過分配金)については、現時点では行う予定はありません。</li> </ul>																																
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令、税制、会計基準、上場規則、投信協会規則等において、上記の予想数値に影響を与える改正が行われないことを前提としています。</li> <li>一般的な経済動向及び不動産市況等に不測の重大な変化が生じないことを前提としています。</li> </ul>																																

## 2. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,999,503	34,265,446
信託現金及び信託預金	26,906,951	26,472,549
営業未収入金	593,593	527,957
前払費用	225,822	853,729
その他	39,670	42,483
貸倒引当金	△11,626	△6,262
流動資産合計	59,753,914	62,155,904
固定資産		
有形固定資産		
建物	※1 25,549,412	※1 26,961,138
減価償却累計額	△8,738,156	△9,063,088
建物(純額)	16,811,256	17,898,050
構築物	※1 205,901	※1 217,620
減価償却累計額	△134,099	△136,229
構築物(純額)	71,801	81,390
機械及び装置	386,066	388,427
減価償却累計額	△267,977	△275,010
機械及び装置(純額)	118,089	113,417
工具、器具及び備品	115,310	117,960
減価償却累計額	△68,476	△73,524
工具、器具及び備品(純額)	46,833	44,435
土地	※1 65,754,857	※1 65,754,857
建設仮勘定	153,737	3,726
信託建物	※3 251,011,679	※3 254,261,754
減価償却累計額	△75,502,981	△78,986,361
信託建物(純額)	175,508,697	175,275,393
信託構築物	2,506,179	2,534,680
減価償却累計額	△1,223,303	△1,276,138
信託構築物(純額)	1,282,875	1,258,541
信託機械及び装置	2,995,023	3,074,288
減価償却累計額	△1,884,761	△1,966,008
信託機械及び装置(純額)	1,110,261	1,108,280
信託工具、器具及び備品	1,887,715	1,989,219
減価償却累計額	△1,067,862	△1,162,614
信託工具、器具及び備品(純額)	819,853	826,605
信託土地	381,677,795	386,358,802
信託建設仮勘定	163,774	583,190
有形固定資産合計	643,519,834	649,306,691
無形固定資産		
ソフトウェア	3,545	2,824
借地権	1,149,355	1,149,355
信託借地権	8,171,352	8,171,352
信託その他無形固定資産	111,395	104,784
無形固定資産合計	9,435,648	9,428,316

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
投資その他の資産		
差入敷金及び保証金	10,000	10,000
信託差入敷金及び保証金	38,372	38,372
長期前払費用	1,948,993	2,110,617
長期預け金	29,232	41,616
デリバティブ債権	98,041	51,799
投資その他の資産合計	2,124,640	2,252,405
固定資産合計	655,080,124	660,987,413
繰延資産		
投資法人債発行費	65,449	59,126
繰延資産合計	65,449	59,126
資産合計	714,899,488	723,202,444
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,669,295	3,242,910
短期借入金	—	1,000,000
1年内償還予定の投資法人債	12,000,000	10,000,000
1年内返済予定の長期借入金	41,000,000	31,600,000
未払費用	852,291	894,830
未払分配金	15,572	16,806
未払法人税等	588	587
未払消費税等	386,327	296,664
前受金	407,517	426,334
信託前受金	3,279,264	3,390,699
預り金	1,605	1,767
信託預り金	313,210	307,014
その他	—	7,781
流動負債合計	60,925,672	51,185,397
固定負債		
投資法人債	24,500,000	24,500,000
長期借入金	235,903,000	253,303,000
預り敷金及び保証金	※1 3,477,636	※1 3,468,777
信託預り敷金及び保証金	29,754,556	30,265,074
固定負債合計	293,635,193	311,536,852
負債合計	354,560,866	362,722,249
純資産の部		
投資主資本		
出資総額	319,973,305	319,973,305
剰余金		
出資剰余金	23,548,287	23,548,287
出資剰余金控除額	※4 △2,999,918	※4 △2,999,918
出資剰余金(純額)	20,548,369	20,548,369
任意積立金		
一時差異等調整積立金	※5 6,907,995	※5 6,830,470
配当準備積立金	3,144,636	3,146,465
任意積立金合計	10,052,632	9,976,935
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	9,666,272	9,929,741
剰余金合計	40,267,274	40,455,046
投資主資本合計	360,240,579	360,428,351
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	98,041	51,843
評価・換算差額等合計	98,041	51,843
純資産合計	※6 360,338,621	※6 360,480,195
負債純資産合計	714,899,488	723,202,444

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前期		当期	
	自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日		自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	
<b>営業収益</b>				
貸貸事業収入	※1	22,033,852	※1	22,818,571
その他貸貸事業収入	※1	1,950,483	※1	2,233,947
不動産等売却益	※2	449,540		—
<b>営業収益合計</b>		<b>24,433,876</b>		<b>25,052,518</b>
<b>営業費用</b>				
貸貸事業費用	※1	11,467,621	※1	11,778,376
資産運用報酬		2,017,025		2,041,826
資産保管手数料		18,936		18,972
一般事務委託手数料		68,755		67,948
役員報酬		10,200		10,200
その他営業費用		224,262		231,897
<b>営業費用合計</b>		<b>13,806,801</b>		<b>14,149,222</b>
<b>営業利益</b>		<b>10,627,074</b>		<b>10,903,295</b>
<b>営業外収益</b>				
受取利息		110		111
未払分配金除斥益		1,595		1,323
保険金収入		32,829		3,583
補助金収入		—		257
還付加算金		9		—
その他		4,025		995
<b>営業外収益合計</b>		<b>38,570</b>		<b>6,271</b>
<b>営業外費用</b>				
支払利息		892,260		893,886
投資法人債利息		66,142		66,424
投資法人債発行費償却		6,357		6,322
不動産等除却損		12,214		9,022
その他		21,792		3,563
<b>営業外費用合計</b>		<b>998,767</b>		<b>979,220</b>
<b>経常利益</b>		<b>9,666,877</b>		<b>9,930,346</b>
<b>税引前当期純利益</b>		<b>9,666,877</b>		<b>9,930,346</b>
法人税、住民税及び事業税		605		605
<b>法人税等合計</b>		<b>605</b>		<b>605</b>
<b>当期純利益</b>		<b>9,666,272</b>		<b>9,929,741</b>
<b>前期繰越利益</b>		<b>—</b>		<b>—</b>
<b>当期末処分利益又は当期末処理損失(△)</b>		<b>9,666,272</b>		<b>9,929,741</b>

(3) 投資主資本等変動計算書

前期(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

(単位: 千円)

	投資主資本						
	出資総額	剰余金					
		出資剰余金	出資剰余金 控除額	出資剰余金 (純額)	任意積立金		
					一時差異等 調整積立金	配当準備積立金	任意積立金合計
当期首残高	319,973,305	23,548,287	—	23,548,287	6,985,521	3,143,148	10,128,669
当期変動額							
一時差異等調整積立金の取崩				—	△77,525		△77,525
配当準備積立金の積立				—		1,488	1,488
剰余金の分配				—			—
当期純利益				—			—
自己投資口の取得				—			—
自己投資口の消却			△2,999,918	△2,999,918			—
投資主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—			—
当期変動額合計	—	—	△2,999,918	△2,999,918	△77,525	1,488	△76,036
当期末残高	※ 319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,907,995	3,144,636	10,052,632

	投資主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	剰余金		自己投資口	投資主資本合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	剰余金合計					
当期首残高	9,628,227	43,305,184	—	363,278,490	12,810	12,810	363,291,301
当期変動額							
一時差異等調整積立金の取崩	77,525	—		—		—	—
配当準備積立金の積立	△1,488	—		—		—	—
剰余金の分配	△9,704,264	△9,704,264		△9,704,264		—	△9,704,264
当期純利益	9,666,272	9,666,272		9,666,272		—	9,666,272
自己投資口の取得		—	△2,999,918	△2,999,918		—	△2,999,918
自己投資口の消却		△2,999,918	2,999,918	—		—	—
投資主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—		—	85,230	85,230	85,230
当期変動額合計	38,044	△3,037,910	—	△3,037,910	85,230	85,230	△2,952,679
当期末残高	9,666,272	40,267,274	—	360,240,579	98,041	98,041	360,338,621

当期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

(単位：千円)

	投資主資本						
	出資総額	剰余金					
		出資剰余金	出資剰余金 控除額	出資剰余金 (純額)	任意積立金		
一時差異等 調整積立金	配当準備積立金				任意積立金合計		
当期首残高	319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,907,995	3,144,636	10,052,632
当期変動額							
一時差異等調整積立金の取崩				—	△77,525		△77,525
配当準備積立金の積立				—		1,828	1,828
剰余金の分配				—			—
当期純利益				—			—
投資主資本以外の項目の当期変動額（純額）				—			—
当期変動額合計	—	—	—	—	△77,525	1,828	△75,697
当期末残高	※ 319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,830,470	3,146,465	9,976,935

	投資主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	剰余金		投資主資本 合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	当期末処分利益 又は当期末 処理損失 (△)	剰余金合計				
当期首残高	9,666,272	40,267,274	360,240,579	98,041	98,041	360,338,621
当期変動額						
一時差異等調整積立金の取崩	77,525	—	—		—	—
配当準備積立金の積立	△1,828	—	—		—	—
剰余金の分配	△9,741,970	△9,741,970	△9,741,970		—	△9,741,970
当期純利益	9,929,741	9,929,741	9,929,741		—	9,929,741
投資主資本以外の項目の当期変動額（純額）		—	—	△46,198	△46,198	△46,198
当期変動額合計	263,469	187,771	187,771	△46,198	△46,198	141,573
当期末残高	9,929,741	40,455,046	360,428,351	51,843	51,843	360,480,195

(4) 金銭の分配に係る計算書

	前 期		当 期	
	自	2022年 6月 1日	自	2022年12月 1日
	至	2022年11月30日	至	2023年 5月31日
I. 当期末処分利益		9,666,272,710円		9,929,741,912円
II. 任意積立金取崩額				
一時差異等調整積立金取崩額		※ 77,525,695円		※ 77,525,695円
III. 分配金の額		9,741,970,104円		10,005,350,339円
(投資口1口当たりの分配金の額)		(3,144円)		(3,229円)
IV. 任意積立金				
配当準備積立金繰入額		1,828,301円		1,917,268円
V. 次期繰越利益		-円		-円

分配金の額の算出方法	前 期	当 期
	<p>本投資法人の規約第35条(1)に定める分配方針に基づき、分配金の額は利益の金額を限度とし、かつ、租税特別措置法第67条の15に規定されている「配当可能利益の額」の90%に相当する金額を超えるものとしています。</p> <p>かかる方針により、当期末処分利益9,666,272,710円に一時差異等調整積立金取崩額77,525,695円を加算したうえで、投資口1口当たりの分配金が1円未満となる端数部分1,828,301円を配当準備積立金として留保した後の残額である9,741,970,104円を利益分配金として分配することとしました。</p> <p>なお、本投資法人規約第35条(2)に定める利益を超えた金銭の分配は行いません。</p>	<p>本投資法人の規約第35条(1)に定める分配方針に基づき、分配金の額は利益の金額を限度とし、かつ、租税特別措置法第67条の15に規定されている「配当可能利益の額」の90%に相当する金額を超えるものとしています。</p> <p>かかる方針により、当期末処分利益9,929,741,912円に一時差異等調整積立金取崩額77,525,695円を加算したうえで、投資口1口当たりの分配金が1円未満となる端数部分1,917,268円を配当準備積立金として留保した後の残額である10,005,350,339円を利益分配金として分配することとしました。</p> <p>なお、本投資法人規約第35条(2)に定める利益を超えた金銭の分配は行いません。</p>

## (5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前期		当期	
	自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日		自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税引前当期純利益	9,666,877		9,930,346	
減価償却費	4,068,836		4,067,539	
不動産等売却益	△449,540		—	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,364		△5,364	
受取利息及び有価証券利息	△110		△111	
支払利息及び投資法人債利息	958,403		960,311	
投資法人債発行費償却	6,357		6,322	
不動産等除却損	12,214		9,022	
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△62,198		65,635	
前払費用の増減額 (△は増加)	605,733		△633,834	
長期前払費用の増減額 (△は増加)	32,845		34,214	
営業未払金の増減額 (△は減少)	△275,072		286,494	
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,186		27,782	
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△322,604		△89,663	
前受金の増減額 (△は減少)	△855		18,816	
信託前受金の増減額 (△は減少)	△78,248		111,435	
預り金の増減額 (△は減少)	668		161	
信託預り金の増減額 (△は減少)	38,088		△6,195	
預り敷金及び保証金償却額	△17,368		△27,005	
信託預り敷金及び保証金償却額	△77,274		△383,202	
その他	△28,292		△7,717	
小計	14,069,909		14,364,988	
利息の受取額	110		111	
利息の支払額	△858,085		△1,136,727	
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△605		△605	
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,211,328		13,227,768	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有形固定資産の売却による収入	570,282		—	
信託有形固定資産の売却による収入	1,552,127		—	
有形固定資産の取得による支出	△1,797,128		△1,154,583	
信託有形固定資産の取得による支出	△7,775,584		△8,413,827	
預り敷金及び保証金の受入による収入	98,442		79,652	
預り敷金及び保証金の返還による支出	△9,873		△61,506	
信託預り敷金及び保証金の受入による収入	568,078		1,104,960	
信託預り敷金及び保証金の返還による支出	△609,601		△211,240	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,403,257		△8,656,544	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入れによる収入	—		1,000,000	
長期借入れによる収入	14,700,000		28,900,000	
長期借入金の返済による支出	△12,000,000		△20,900,000	
自己投資口の取得による支出	△3,002,948		—	
投資法人債の償還による支出	—		△2,000,000	
分配金の支払額	△9,702,556		△9,739,682	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,005,504		△2,739,682	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,197,432		1,831,541	
現金及び現金同等物の期首残高	63,103,888		58,906,455	
現金及び現金同等物の期末残高	58,906,455		60,737,996	



## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産（信託財産を含む） 定額法を採用しています。 なお、有形固定資産の耐用年数は以下のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>2年～70年</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td>2年～53年</td> </tr> <tr> <td>機械及び装置</td> <td>2年～31年</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td>2年～20年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産（信託財産を含む） 定額法を採用しています。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいています。</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法を採用しています。</p>	建物	2年～70年	構築物	2年～53年	機械及び装置	2年～31年	工具、器具及び備品	2年～20年
建物	2年～70年								
構築物	2年～53年								
機械及び装置	2年～31年								
工具、器具及び備品	2年～20年								
2. 引当金の計上基準	<p>貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。</p>								
3. 繰延資産の処理方法	<p>投資法人債発行費 投資法人債の償還までの期間にわたり定額法により償却しています。</p>								
4. 収益及び費用の計上基準	<p>(1) 収益に関する計上基準 本投資法人の顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりです。</p> <p>①不動産等の売却 不動産等売却収入については、不動産売却に係る契約に定められた引渡義務を履行することにより、顧客である買主が当該不動産等の支配を獲得した時点で収益計上を行っています。</p> <p>②水道光熱費収入（附加使用料） 水道光熱費収入については、不動産等の賃貸借契約及び付随する合意内容に基づき、顧客である賃借人に対する電気、水道等の供給に応じて収益計上を行っています。</p> <p>水道光熱費収入のうち、本投資法人が代理人に該当すると判断したものについては、他の当事者が供給する電気、ガス等の料金として收受する額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額を収益として認識しています。</p> <p>(2) 固定資産税等の処理方法 保有する不動産にかかる固定資産税、都市計画税及び償却資産税等については、賦課決定された税額のうち当期に対応する額を賃貸事業費用として費用処理する方法を採用しています。</p> <p>なお、不動産又は不動産を信託財産とする信託受益権の取得に伴い、本投資法人が負担すべき初年度の固定資産税等相当額については、費用に計上せず当該不動産等の取得原価に算入しています。当期において不動産等の取得原価に算入した固定資産税等相当額は21,432千円です。</p>								

5. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっています。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>①ヘッジ手段 金利キャップ取引 金利スワップ取引</p> <p>②ヘッジ対象 借入金金利</p> <p>(3) ヘッジ方針 本投資法人は財務方針に基づき、規約に規定するリスクをヘッジする目的でデリバティブ取引を行っています。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 ヘッジ対象の相場変動の累計又はキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動の累計又はキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、両者の変動額の比率を検証することにより、ヘッジの有効性を評価しています。 ただし、金利スワップの特例処理の要件を満たしているものについては、有効性の評価を省略しています。</p> <p>(「LIBORを参照する金融商品に関するヘッジ会計の取扱い」を適用しているヘッジ関係) 上記のヘッジ関係のうち、「LIBORを参照する金融商品に関するヘッジ会計の取扱い」(実務対応報告第40号 2022年3月17日)の適用範囲に含まれるヘッジ関係のすべてに、当該実務対応報告に定められる特例的な取扱いを適用しています。当該実務対応報告を適用しているヘッジ関係の内容は以下のとおりです。</p> <p>ヘッジ会計の方法 : 金利スワップの特例処理 ヘッジ手段 : 金利スワップ取引 ヘッジ対象 : 借入金金利 ヘッジ取引の種類 : キャッシュ・フローを固定するもの</p>
6. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	<p>キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金及び信託現金、随時引き出し可能な預金及び信託預金並びに容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっています。</p>
7. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>(1) 不動産等を信託財産とする信託受益権に関する会計処理方法 保有する不動産等を信託財産とする信託受益権については、信託財産内の全ての資産及び負債勘定並びに信託財産に生じた全ての収益及び費用勘定について、貸借対照表及び損益計算書の該当勘定科目に計上しています。 なお、該当勘定科目に計上した信託財産のうち重要性がある下記の科目については、貸借対照表において区分掲記しています。</p> <p>①信託現金及び信託預金 ②信託建物、信託構築物、信託機械及び装置、信託工具、器具及び備品、信託土地、信託建設仮勘定 ③信託借地権、信託その他無形固定資産 ④信託差入敷金及び保証金 ⑤信託前受金 ⑥信託預り金 ⑦信託預り敷金及び保証金</p> <p>(2) 控除対象外消費税等の処理方法 固定資産等に係る控除対象外消費税は個々の資産の取得原価に算入しています。</p>

## (8) 財務諸表に関する注記事項

〔重要な会計上の見積りに関する注記〕

## 固定資産の減損

## 1. 財務諸表に計上した金額

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
減損損失	—	—
有形固定資産	643,519,834	649,306,691
無形固定資産	9,435,648	9,428,316

## 2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

## 前期（2022年11月30日）

本投資法人は、固定資産の減損に係る会計基準に従い、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった場合、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額する会計処理を適用しています。

会計処理の適用にあたっては、本投資法人が保有する各物件を一つの資産グループとし、営業損益又はキャッシュ・フローが継続してマイナス、使用範囲又は方法について回収可能価額を著しく低下させる変化、経営環境の著しい悪化及び市場価格の著しい下落等によって減損の兆候があると認められる場合に減損損失の認識の要否を判定します。

減損損失を認識するかどうかの検討には将来キャッシュ・フローの見積金額を用い、減損損失の認識が必要と判断された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上します。

将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、その前提となる賃料、賃貸事業費用、割引率等について、不動産鑑定評価において設定されている数値等の外部専門家の情報を参考に、市場の動向、類似不動産の取引事例等を総合的に勘案の上決定します。

各物件の業績や市場価格は、不動産賃貸市場や不動産売買市場の動向を受ける可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、感染者数の動向は依然として注視が必要ではあるものの、行動抑制政策の緩和、旅行支援及び訪日外国人の入国制限緩和等の政府・自治体の各種施策の効果等により、2023年以降事業環境が徐々に好転するものと想定しています。

これらの様々な事象を正確に予測することは困難であり、見積りの前提に変更が生じた場合には、翌期の本投資法人の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

## 当期（2023年5月31日）

本投資法人は、固定資産の減損に係る会計基準に従い、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった場合、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額する会計処理を適用しています。

会計処理の適用にあたっては、本投資法人が保有する各物件を一つの資産グループとし、営業損益又はキャッシュ・フローが継続してマイナス、使用範囲又は方法について回収可能価額を著しく低下させる変化、経営環境の著しい悪化及び市場価格の著しい下落等によって減損の兆候があると認められる場合に減損損失の認識の要否を判定します。

減損損失を認識するかどうかの検討には将来キャッシュ・フローの見積金額を用い、減損損失の認識が必要と判断された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上します。

将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、その前提となる賃料、賃貸事業費用、割引率等について、不動産鑑定評価において設定されている数値等の外部専門家の情報を参考に、市場の動向、類似不動産の取引事例等を総合的に勘案の上決定します。

各物件の業績や市場価格は、不動産賃貸市場や不動産売買市場の動向の影響を受ける可能性があります。そのため、見積りの前提に変更が生じた場合には、翌期の本投資法人の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

〔貸借対照表に関する注記〕

- ※1. 担保に供している資産及び担保を付している債務  
担保に供している資産は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
建 物	1,216,600	1,233,968
構築物	5,809	5,606
土 地	2,089,982	2,089,982
合 計	3,312,392	3,329,557

担保を付している債務は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
預り敷金及び保証金	408,171	408,171
合 計	408,171	408,171

2. コミットメントライン契約

本投資法人は、取引銀行とコミットメントライン契約を締結しています。

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
コミットメントライン契約の総額	36,000,000	36,000,000
借入残高	—	—
差 引	36,000,000	36,000,000

- ※3. 国庫補助金により取得した有形固定資産の圧縮記帳額

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
信託建物	39,608	39,608

- ※4. 自己投資口の消却の状況

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
総消却口数	19,746口	19,746口
消却総額	2,999,918千円	2,999,918千円

(注) 当期中の自己投資口の消却はありません。

- ※5. 一時差異等調整積立金の積立て及び取崩しの処理に関する事項

前期(2022年11月30日)

(単位：千円)

	当初発生額	当期首残高	当期積立額	当期取崩額	当期末残高	積立て、取崩し の発生事由
負ののれん 発生益(注1)	7,546,388	6,791,749	—	75,463	6,716,285	分配金に充当
減価償却費等 による利益超 過税会不一致 の一部(注2)	66,949	62,262	—	669	61,593	分配金に充当
	76,099	71,533	—	760	70,772	
	63,132	59,975	—	631	59,344	

当期 (2023年5月31日)

(単位：千円)						
	当初発生額	当期首残高	当期積立額	当期取崩額	当期末残高	積立て、取崩しの発生事由
負ののれん 発生益 (注1)	7,546,388	6,716,285	—	75,463	6,640,821	分配金に充当
減価償却費等 による利益超 過税会不一致 の一部 (注2)	66,949	61,593	—	669	60,923	分配金に充当
	76,099	70,772	—	760	70,011	
	63,132	59,344	—	631	58,713	

(注1) 過年度に計上した負ののれん発生益に細分された金額の残額であり、2017年5月期以降、当初発生額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を每期取り崩す予定です。

(注2) 減価償却費等による利益超過税会不一致の一部であり、積立てを行った期の翌期以降、当初発生額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を每期取り崩す予定です。

## ※6. 投資信託及び投資法人に関する法律第67条第4項に定める最低純資産額

(単位：千円)	
前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
50,000	50,000

〔損益計算書に関する注記〕

## ※1. 不動産事業損益の内訳

(単位：千円)				
	前期 自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日		当期 自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	
A. 不動産賃貸事業収益				
賃貸事業収入				
賃料収入	19,714,415		20,493,491	
共益費収入	1,408,537		1,388,156	
駐車場収入	748,216		770,051	
その他賃貸収入 (注1)	162,682	22,033,852	166,870	22,818,571
その他賃貸事業収入				
附加使用料 (注2)	1,676,330		1,605,287	
賃貸事業一時収入	182,622		532,405	
その他雑収入	91,530	1,950,483	96,254	2,233,947
不動産賃貸事業収益合計	23,984,335		25,052,518	
B. 不動産賃貸事業費用				
賃貸事業費用				
公租公課	2,163,124		2,126,537	
外注委託費	1,824,199		1,834,831	
水道光熱費	1,940,039		1,919,501	
損害保険料	37,614		37,814	
修繕費 (注3)	997,060		1,322,963	
減価償却費	4,068,836		4,067,539	
その他賃貸事業費用	436,746		469,189	
不動産賃貸事業費用合計	11,467,621		11,778,376	
C. 不動産賃貸事業損益 (A - B)	12,516,713		13,274,141	

(注1) 賃料収入、共益費収入及び駐車場収入以外の定額の収益を記載しています。

(注2) 使用料に応じてテナントから受け取る水道光熱費等を記載しています。

(注3) 修繕費及び修繕積立金を記載しています。

※2. 不動産等売却益の内訳

前期 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

UURコート札幌篠路壺番館		(単位：千円)
不動産等売却収入	600,000	
不動産等売却原価	568,970	
その他売却費用	25,638	
不動産等売却益		5,390

あすと長町デンタルクリニック		(単位：千円)
不動産等売却収入	1,650,000	
不動産等売却原価	1,189,637	
その他売却費用	16,212	
不動産等売却益		444,149

当期 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

[投資主資本等変動計算書に関する注記]

※. 発行可能投資口総口数及び発行済投資口の総口数

	前期	当期
	自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日	自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日
発行可能投資口総口数	10,000,000口	10,000,000口
発行済投資口の総口数	3,098,591口	3,098,591口

[金銭の分配に係る計算書に関する注記]

※. 一時差異等調整積立金

前期 (2022年11月30日)

本投資法人の、一時差異等調整積立金に係る内容は以下のとおりです。

積立て、取崩しの発生事由等	積立額、取崩額	取崩の具体的な方法
2016年11月期の金銭の分配に係る計算書において、過年度に計上した負ののれん発生益に細分された金額の残額である配当積立金を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	(当初積立額：7,546,388,071円) 当期取崩額：75,463,881円	積立てを行った期の翌期である2017年5月期以降、当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額(75,463,881円以上)を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。
金銭の分配に係る計算書において、減価償却費等による利益超過税会不一致の一部を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年5月期 (当初積立額：66,949,209円) 当期取崩額：669,493円</li> <li>・ 2018年11月期 (当初積立額：76,099,699円) 当期取崩額：760,997円</li> <li>・ 2019年5月期 (当初積立額：63,132,400円) 当期取崩額：631,324円</li> </ul>	積立てを行った期の翌期以降、それぞれの当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。

当期 (2023年5月31日)

本投資法人の、一時差異等調整積立金に係る内容は以下のとおりです。

積立て、取崩しの発生事由等	積立額、取崩額	取崩の具体的な方法
2016年11月期の金銭の分配に係る計算書において、過年度に計上した負ののれん発生益に細分された金額の残額である配当積立金を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	(当初積立額：7,546,388,071円) 当期取崩額：75,463,881円	積立てを行った期の翌期である2017年5月期以降、当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額(75,463,881円以上)を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。
金銭の分配に係る計算書において、減価償却費等による利益超過税会不一致の一部を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年5月期 (当初積立額：66,949,209円) 当期取崩額：669,493円</li> <li>・ 2018年11月期 (当初積立額：76,099,699円) 当期取崩額：760,997円</li> <li>・ 2019年5月期 (当初積立額：63,132,400円) 当期取崩額：631,324円</li> </ul>	積立てを行った期の翌期以降、それぞれの当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。

## 〔税効果会計に関する注記〕

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：千円)

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
繰延税金資産		
税務上の収益認識差額	12,361	23,980
合併時受入評価差額	15,580,652	15,563,658
貸倒引当金繰入超過額	3,657	1,970
減損損失	328,442	328,442
その他	246	236
小計	15,925,361	15,918,288
評価性引当額	△15,925,361	△15,918,288
合計	—	—
繰延税金資産の純額	—	—

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前期 2022年11月30日	当期 2023年5月31日
法定実効税率	31.46%	31.46%
(調整)		
支払分配金の損金算入額	△31.15%	△31.23%
評価性引当額の増減	△0.32%	△0.23%
その他	0.01%	0.01%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	0.01%	0.01%



## 〔賃貸等不動産に関する注記〕

本投資法人は、首都圏並びに政令指定都市をはじめとする日本全国の主要都市及びそれぞれの周辺部において、賃貸用の投資不動産（用途は商業施設、オフィスビル、ホテル、住居及びその他であり、土地を含みません。）を保有しています。これら賃貸等不動産に係る貸借対照表計上額、期中増減額及び期末時価は以下のとおりです。

(単位：千円)

用途		前期	当期
		自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日	自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日
商業施設	貸借対照表計上額		
	期首残高	186,385,219	187,796,463
	期中増減額	1,411,244	98,945
	期末残高	187,796,463	187,895,408
	期末時価	216,694,000	217,099,000
オフィスビル	貸借対照表計上額		
	期首残高	193,379,400	192,530,086
	期中増減額	△849,314	2,029,006
	期末残高	192,530,086	194,559,093
	期末時価	260,760,000	260,380,000
ホテル	貸借対照表計上額		
	期首残高	159,710,652	158,961,094
	期中増減額	△749,557	△81,619
	期末残高	158,961,094	158,879,474
	期末時価	185,710,000	184,046,000
住居	貸借対照表計上額		
	期首残高	45,149,499	46,121,214
	期中増減額	971,715	1,565,692
	期末残高	46,121,214	47,686,906
	期末時価	67,264,000	69,260,000
その他	貸借対照表計上額		
	期首残高	64,113,642	67,431,683
	期中増減額	3,318,040	2,174,832
	期末残高	67,431,683	69,606,515
	期末時価	90,334,000	94,680,000
合計	貸借対照表計上額		
	期首残高	648,738,414	652,840,542
	期中増減額	4,102,128	5,786,856
	期末残高	652,840,542	658,627,399
	期末時価	820,762,000	825,465,000

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価（取得に伴う付帯費用を含みます。）から減価償却累計額を控除した金額です。

(注2) 期中増減額のうち、前期の主な増加額は新規3物件の取得（合計7,900百万円）及び資本的支出（1,950百万円）によるものであり、主な減少額は2物件の譲渡（合計1,758百万円）及び減価償却費（4,060百万円）によるものです。当期の主な増加額は新規3物件の取得（合計5,897百万円）、既保有物件の建物部分の追加取得（1,244百万円）及び資本的支出（2,443百万円）によるものであり、主な減少額は減価償却費（4,059百万円）によるものです。

(注3) 期末時価は、本投資法人の規約に定める資産評価の方法及び基準並びに一般社団法人投資信託協会の定める規則に基づき、不動産鑑定士による鑑定評価額又は調査価額を記載しています。

なお、賃貸等不動産に関する損益については、〔損益計算書に関する注記〕をご参照ください。

## 〔収益認識に関する注記〕

## 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前期（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

(単位：千円)

	顧客との契約から生じる収益 (注1)	外部顧客への売上高
不動産等売却収入	2,250,000	449,540 (注2)
水道光熱費収入 (注3)	1,676,330	1,676,330
その他	—	22,308,005
合 計	3,926,330	24,433,876

当期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

(単位：千円)

	顧客との契約から生じる収益 (注1)	外部顧客への売上高
不動産等売却収入	—	—
水道光熱費収入 (注3)	1,605,287	1,605,287
その他	—	23,447,230
合 計	1,605,287	25,052,518

(注1) 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の対象となる賃貸事業収入等及び日本公認会計士協会会計制度委員会報告第15号「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」の対象となる不動産等の譲渡は収益認識会計基準の適用外となるため、上記金額には含めていません。なお、主な顧客との契約から生じる収益は不動産等売却収入及び水道光熱費収入です。

(注2) 不動産等売却収入については、損益計算書において不動産等売却損益（不動産等売却収入より不動産等売却原価及びその他売却費用を控除した額）として計上します。本投資法人においては、不動産等売却益を営業収益に、不動産等売却損を営業費用に計上しているため、上表には不動産等売却益の額のみを記載しています。

(注3) 水道光熱費収入については、不動産等の賃貸借契約及び付随する合意内容に基づき、顧客である賃借人に対する電気、水道等の供給に応じて収益計上した額を記載しています。

## 2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

前期（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）及び当期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）において、(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載のとおりです。

## 3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当計算期間末において 存在する顧客との契約から翌計算期間以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

前期（自 2022年6月1日 至 2022年11月30日）

## (1) 契約資産及び契約負債の残高等

(単位：千円)

顧客との契約から生じた債権（期首残高）	278,104
顧客との契約から生じた債権（期末残高）	317,711
契約資産（期首残高）	—
契約資産（期末残高）	—
契約負債（期首残高）	—
契約負債（期末残高）	—

## (2) 残存履行義務に配分した取引価格

該当事項はありません。

なお、水道光熱費収入については、期末までに履行が完了した部分に対する顧客である賃借人にとっての価値に直接対応する対価の額を顧客から受け取る権利を有していることから、収益認識に関する会計基準の適用指針第19項に従って、請求する権利を有している金額で収益を認識しています。従って、収益認識に関する会計基準第80-22項 (2) の定めを適用し残存履行義務に配分した取引価格の注記には含めていません。

当期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

(単位：千円)

顧客との契約から生じた債権（期首残高）	317,711
顧客との契約から生じた債権（期末残高）	315,789
契約資産（期首残高）	—
契約資産（期末残高）	—
契約負債（期首残高）	—
契約負債（期末残高）	—

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

該当事項はありません。

なお、水道光熱費収入については、期末までに履行が完了した部分に対する顧客である賃借人にとっての価値に直接対応する対価の額を顧客から受け取る権利を有していることから、収益認識に関する会計基準の適用指針第19項に従って、請求する権利を有している金額で収益を認識しています。従って、収益認識に関する会計基準第80-22項（2）の定めを適用し残存履行義務に配分した取引価格の注記には含めていません。

[1口当たり情報に関する注記]

	前期 自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日	当期 自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日
1口当たり純資産額	116,291円	116,336円
1口当たり当期純利益	3,103円	3,204円

(注1) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を日数加重平均口数で除することにより算出しています。なお、潜在投資口調整後1口当たり当期純利益については、潜在投資口がないため記載していません。

(注2) 1口当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前期 自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日	当期 自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日
当期純利益 (千円)	9,666,272	9,929,741
普通投資主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通投資口に係る当期純利益 (千円)	9,666,272	9,929,741
期中平均投資口数 (口)	3,114,668	3,098,591

[重要な後発事象に関する注記]

該当事項はありません。

[開示の省略]

キャッシュ・フロー計算書、リース取引、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、持分法損益等、関連当事者との取引、セグメント情報等及び資産除去債務に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

## (9) 発行済投資口の総口数の増減

当期において増資等は行っておらず、発行済投資口の総口数及び出資総額の異動はありません。なお、当期末までの最近5年間における発行済投資口の総口数及び出資総額の増減は、以下のとおりです。

年月日	摘要	発行済投資口の総口数(口)		出資総額(百万円)		備考
		増減	残高	増減	残高	
2019年 6月19日	公募増資	55,000	3,110,087	9,363	318,568	(注1)
2019年 7月11日	第三者割当増資	8,250	3,118,337	1,404	319,973	(注2)
2022年10月28日	消却	△19,746	3,098,591	—	319,973	(注3)

(注1) 1口当たり175,616円(引受価額170,240円)にて、新規物件の取得資金に充当することを目的として公募により新投資口を発行しました。

(注2) 1口当たり170,240円にて、物件取得に伴い減少した手元資金への充当を目的として第三者割当により新投資口を発行しました。

(注3) 2022年9月16日から2022年9月30日にかけて、自己投資口取得に係る証券会社との取引一任契約に基づく東京証券取引所における市場買付けにより、自己投資口の取得を行いました。取得した自己投資口(19,746口)については、2022年10月20日に開催された本投資法人役員会における決議に基づき、そのすべてを2022年10月28日に消却しました。また、自己投資口取得に係る取得資金については出資剰余金から控除した結果、出資総額に変更はありません。

## 3. 参考情報

## (1) 運用資産等の価格に関する情報

## ① 本投資法人の資産の構成

資産の種類	用途	地域		第38期 2022年11月30日		第39期 2023年5月31日	
				保有総額 (千円) (注1)	対総資産 比率(%)	保有総額 (千円) (注1)	対総資産 比率(%)
不動産	商業施設	首都圏 (注2)	東京都心6区 (注3)	—	—	—	—
			東京23区 (注4)	—	—	—	—
			首都圏地域 (注5)	7,220,451	1.0	7,209,102	1.0
		地方 (注6)	13,247,308	1.9	13,284,617	1.8	
	オフィスビル	首都圏	東京都心6区	22,880,760	3.2	22,833,648	3.2
			東京23区	9,320,993	1.3	9,281,845	1.3
			首都圏地域	8,715,554	1.2	8,711,619	1.2
		地方	—	—	—	—	
	ホテル	首都圏	東京都心6区	1,565,085	0.2	1,558,486	0.2
			東京23区	—	—	—	—
			首都圏地域	3,654,675	0.5	3,620,946	0.5
		地方	—	—	—	—	
	住居	首都圏	東京都心6区	—	—	—	—
			東京23区	4,747,227	0.7	4,727,904	0.7
			首都圏地域	1,681,579	0.2	1,678,406	0.2
		地方	3,585,287	0.5	3,558,917	0.5	
	その他	首都圏	東京都心6区	—	—	—	—
			東京23区	—	—	—	—
			首都圏地域	6,934,188	1.0	6,934,188	1.0
		地方	552,821	0.1	1,645,551	0.2	
小計				84,105,931	11.8	85,045,233	11.8
信託不動産	商業施設	首都圏	東京都心6区	4,215,028	0.6	4,209,177	0.6
			東京23区	11,433,576	1.6	11,395,244	1.6
			首都圏地域	95,691,247	13.4	95,668,528	13.2
		地方	55,988,850	7.8	56,128,737	7.8	
	オフィスビル	首都圏	東京都心6区	65,405,755	9.1	65,236,510	9.0
			東京23区	1,960,896	0.3	1,955,635	0.3
			首都圏地域	38,804,490	5.4	38,440,664	5.3
		地方	45,441,635	6.4	48,099,168	6.7	
	ホテル	首都圏	東京都心6区	40,073,449	5.6	39,886,006	5.5
			東京23区	—	—	—	—
			首都圏地域	22,966,423	3.2	22,907,876	3.2
		地方	90,701,460	12.7	90,906,158	12.6	
	住居	首都圏	東京都心6区	2,293,421	0.3	2,287,021	0.3
			東京23区	9,686,849	1.4	9,647,962	1.3
			首都圏地域	2,792,522	0.4	2,776,886	0.4
		地方	21,334,327	3.0	23,009,807	3.2	
	その他	首都圏	東京都心6区	3,222,619	0.5	3,220,500	0.4
			東京23区	7,885,149	1.1	7,869,838	1.1
			首都圏地域	38,026,036	5.3	37,944,720	5.2
		地方	10,810,869	1.5	11,991,717	1.7	
小計				568,734,610	79.6	573,582,165	79.3
預金等のその他資産				62,058,945	8.7	64,575,045	8.9
資産総額計				714,899,488	100.0	723,202,444	100.0

(注1) 「保有総額」は、各決算日時点における貸借対照表計上額（不動産及び信託不動産については、減価償却後の帳簿価額）によっています。なお、不動産を主な信託財産とする信託受益権には信託財産内の預金は含まれていません。

(注2) 「首都圏」とは、1都7県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県及び山梨県）を指します。

(注3) 「東京都心6区」とは、千代田区、港区、中央区、新宿区、渋谷区及び品川区を指します。

(注4) 「東京23区」とは、東京都内23区から東京都心6区を除いた地域を指します。

(注5) 「首都圏地域」とは、首都圏から東京都内23区を除いた地域を指します。

(注6) 「地方」とは、政令指定都市（首都圏所在のものを除きます。）をはじめとする日本全国の主要都市（周辺部を含みます。）を指します。

	前期 2022年11月30日		当期 2023年5月31日	
	金額（千円）	対総資産比率（%）	金額（千円）	対総資産比率（%）
負債総額	354,560,866	49.6	362,722,249	50.2
純資産総額	360,338,621	50.4	360,480,195	49.8
資産総額	714,899,488	100.0	723,202,444	100.0

② 投資資産

a. 投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

b. 投資不動産物件

当期末時点において、本投資法人は不動産のほか、不動産信託受益権（かかる不動産信託受益権の信託財産である不動産を以下「信託不動産」といい、不動産と信託不動産を併せて「投資不動産」といいます。）を保有しています。このため、参照の便宜上、不動産と信託不動産を一括して記載しています。

(i) 投資不動産の概要1

投資不動産の取得価格、期末帳簿価額、期末評価額、鑑定評価機関、テナント数、賃貸可能面積、賃貸契約面積及び稼働率は以下のとおりです。

(2023年5月31日時点)

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
A2	ジョイパーク泉ヶ丘	6,770	4,929	4,590	0.6	不動産研	28	12,977.80	12,977.80	100.0
A4	Luz船橋	5,200	4,024	6,270	0.8	不動産研	16	12,955.48	12,955.48	100.0
A6	天神ルーチェ	6,500	6,236	6,740	0.8	日土地	12	4,256.57	3,908.44	91.8
A7	テックランド堺本店	3,210	2,636	3,930	0.5	不動産研	1	8,637.63	8,637.63	100.0
A8	宮前ショッピングセンター	5,312	4,716	5,330	0.6	不動産研	3	10,487.92	10,487.92	100.0
A9	コナミススポーツクラブ 香里ヶ丘	2,040	1,333	2,020	0.2	不動産研	1	8,627.58	8,627.58	100.0
A10	アクティオーレ南池袋	3,760	3,535	3,480	0.4	不動産研	10	2,081.50	2,081.50	100.0
A11	Tip's 町田ビル	4,100	4,176	5,300	0.6	不動産研	10	6,616.32	6,616.32	100.0
A12	ダイエー宝塚中山店	4,284	2,970 (注9)	3,950	0.5	不動産研	1	16,729.60	16,729.60	100.0
A13	maricom-ISOGO・システム プラザ横浜（敷地）	11,904	12,457	11,500	1.4	不動産研	4	52,668.38	52,668.38	100.0
A14	アクティオーレ関内	2,410	2,198	1,930	0.2	不動産研	7	1,938.56	1,336.11	68.9
A15	心齋橋OPA本館	22,800	21,778	25,000	3.0	不動産研	1	27,025.42	27,025.42	100.0
A19	アルポーレ神宮前	1,580	1,530	2,810	0.3	不動産研	3	824.73	824.73	100.0
A20	アルポーレ仙台	2,590	2,292	3,300	0.4	不動産研	7	3,182.13	2,638.33	82.9
A21	モラージュ柏	7,040	6,687	9,270	1.1	不動産研	92	41,749.24	41,389.03	99.1

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
A23	イトーヨーカドー尾張旭店	4,840	3,797	4,940	0.6	不動産研	1	54,606.34	54,606.34	100.0
A24	横浜狩場ショッピング センター	2,500	1,974	2,410	0.3	不動産研	1	11,345.09	11,345.09	100.0
A25	Luz自由が丘	5,090	4,661	5,910	0.7	不動産研	21	2,283.47	2,283.47	100.0
A26	アクティオーレ市川	3,350	2,664	4,170	0.5	不動産研	13	3,931.56	3,931.56	100.0
A27	横浜青葉ショッピング センター (敷地)	2,600	2,740	3,390	0.4	不動産研	1	9,193.00	9,193.00	100.0
A28	ヤマダ電機テックランド 青葉店 (敷地)	2,150	2,270	2,890	0.4	不動産研	1	7,650.63	7,650.63	100.0
A29	ヨドバシカメラマルチ メディア吉祥寺	28,000	25,974	36,100	4.4	不動産研	1	37,932.95	37,932.95	100.0
A30	家電住まいる館 YAMADA松戸本店	5,150	4,512	7,080	0.9	不動産研	1	17,561.23	17,561.23	100.0
A31	Luz福岡天神 (注14)	4,350	4,954	4,480	0.5	不動産研	5	7,730.09	2,498.60	32.3
A32	鳴海ショッピングセンター (敷地)	6,460	6,850	7,160	0.9	谷澤	3	60,419.26	60,419.26	100.0
A33	ブラッシングウェーブ 江の島	1,800	1,880	1,600	0.2	不動産研	7	2,885.94	1,792.31	62.1
A34	ライフ西九条店 (敷地)	1,760	1,842	2,090	0.3	谷澤	1	3,252.76	3,252.76	100.0
A35	ライフ玉造店 (敷地)	1,880	1,967	2,170	0.3	谷澤	1	2,391.44	2,391.44	100.0
A36	グランベル銀座ビル	2,621	2,678	2,750	0.3	不動産研	12	1,352.35	1,352.35	100.0
A37	UUR天神西通りビル	5,500	6,024	3,810	0.5	不動産研	3	1,053.10	1,053.10	100.0
A38	Luz湘南辻堂	3,938	4,267	4,660	0.6	谷澤	33	10,373.71	10,163.04	98.0
A39	アクティオーレ上野	3,000	3,198	2,760	0.3	谷澤	9	1,163.44	1,163.44	100.0
A40	くるる	9,285	9,972	8,980	1.1	谷澤	26	12,810.05	12,665.35	98.9
A41	ケーズデンキ名古屋北店	1,750	1,797	1,870	0.2	谷澤	1	4,733.74	4,733.74	100.0
A42	Luz武蔵小杉	12,151	12,196	11,800	1.4	谷澤	2	8,272.58	8,272.58	100.0
A43	LEVENおたかの森	3,800	3,833	3,870	0.5	谷澤	14	5,984.28	5,984.28	100.0
A44	ガリバー八王子みなみ野店	1,500	1,582	1,640	0.2	不動産研	1	8,278.27	8,278.27	100.0
B1	T&G浜松町ビル	2,257	2,088	2,920	0.4	谷澤	7	2,261.97	2,261.97	100.0
B3	福岡アーセオンビル	2,080	1,439	3,350	0.4	不動産研	7	4,934.40	4,934.40	100.0
B4	麹町センタープレイス (注15)	2,350	2,378	2,960	0.4	不動産研	15	2,577.76	2,537.46	98.4
B6	新大阪セントラルタワー	24,000	22,920	29,000	3.5	日土地	63	45,951.31	44,113.53	96.0
B7	川崎東芝ビル	19,200	18,144	31,000	3.8	谷澤	1	36,142.30	36,142.30	100.0
B8	UUR東陽町ビル	8,500	8,247	6,730	0.8	不動産研	1	7,571.20	7,571.20	100.0
B9	フォーシーズンビル	4,200	3,935	6,380	0.8	不動産研	1	5,000.54	5,000.54	100.0
B11	パシフィックマークス 新宿パークサイド	12,100	11,395	15,000	1.8	不動産研	20	10,947.34	10,947.34	100.0
B13	パシフィックマークス月島	6,080	5,661	7,140	0.9	不動産研	45	9,335.19	9,229.93	98.9
B14	パシフィックマークス 横浜イースト	7,050	6,246	7,990	1.0	谷澤	28	11,199.19	11,199.19	100.0
B17	赤坂氷川ビル	3,290	3,123	4,150	0.5	不動産研	1	3,438.20	3,438.20	100.0
B18	パシフィックマークス 渋谷公園通	2,570	2,405	3,470	0.4	不動産研	1	1,972.43	1,972.43	100.0
B20	パシフィックマークス 赤坂見附	2,210	2,124	2,660	0.3	不動産研	8	1,675.13	1,675.13	100.0

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
B22	パシフィックマークス 新横浜	1,710	1,463	1,600	0.2	谷澤	10	3,084.02	3,084.02	100.0
B25	パシフィックマークス川崎	9,890	8,711	12,900	1.6	谷澤	41	7,395.50	7,314.34	98.9
B26	浜松町262ビル	6,840	6,247	8,400	1.0	不動研	18	6,149.77	5,854.71	95.2
B27	リーラヒジリザカ	2,750	2,590	3,670	0.4	不動研	13	4,255.02	4,255.02	100.0
B29	大塚HTビル	1,160	1,034	1,310	0.2	不動研	7	1,774.56	1,774.56	100.0
B30	パシフィックマークス 新宿サウスゲート	2,460	2,436	4,050	0.5	不動研	8	1,727.48	1,727.48	100.0
B31	パシフィックマークス 西梅田	6,860	6,542	8,140	1.0	谷澤	29	10,990.99	10,506.19	95.6
B32	パシフィックマークス 肥後橋	4,570	4,268	5,630	0.7	谷澤	26	7,617.24	7,279.33	95.6
B35	パシフィックマークス 札幌北一条	1,790	1,638	2,400	0.3	谷澤	12	4,731.59	4,731.59	100.0
B36	新札幌センタービル	987	800	844	0.1	谷澤	21	2,797.23	2,797.23	100.0
B37	アリーナタワー	9,500	7,331	12,600	1.5	谷澤	11	17,967.46	16,561.09	92.2
B38	湯島ファーストビル	2,100	1,955	3,470	0.4	不動研	6	4,554.23	4,554.23	100.0
B39	道玄坂スクエア	2,300	2,204	3,230	0.4	不動研	27	2,234.21	2,127.01	95.2
B40	グランスクエア新栄	1,480	1,191	1,980	0.2	不動研	9	4,578.93	4,578.93	100.0
B41	グランスクエア名駅南	1,220	1,010	2,670	0.3	不動研	13	4,003.05	4,003.05	100.0
B42	芝520ビル	2,100	2,090	3,930	0.5	不動研	5	2,831.93	2,831.93	100.0
B43	広瀬通S Eビル	3,600	2,870	5,720	0.7	不動研	8	8,235.87	8,235.87	100.0
B44	S S 30	18,200	18,811	23,400	2.8	不動研	80	67,681.45	65,499.82	96.8
B45	LOOP-X・M	11,200	12,208	13,000	1.6	不動研	116	21,589.27	20,255.86	93.8
B46	虎ノ門ヒルズ 森タワー	10,000	10,020	11,500	1.4	不動研	1	3,273.51	3,273.51	100.0
B47	虎ノ門P Fビル	3,435	3,466	4,560	0.6	不動研	4	3,603.09	3,603.09	100.0
B48	UUR京橋イーストビル	7,280	7,535	8,160	1.0	谷澤	6	3,642.18	3,642.18	100.0
B49	飯田橋プラザ	5,950	6,155	7,180	0.9	不動研	2	4,370.23	4,370.23	100.0
B50	大阪ベイタワー	2,637	2,786	2,760	0.3	不動研	155	44,076.20	41,484.23	94.1
C1	新宿ワシントンホテル本館	21,140	21,577	26,300	3.2	不動研	9	53,315.02	52,182.76	97.9
C2	東横イン品川駅高輪口	1,884	1,558	2,590	0.3	日土地	1	3,088.85	3,088.85	100.0
C3	MZビル	3,800	2,923	3,850	0.5	不動研	8	6,660.20	6,482.75	97.3
C4	ホテルルートイン 横浜馬車道	4,720	3,620	4,850	0.6	日土地	4	7,139.44	7,139.44	100.0
C5	ホテルJALシティ那覇	7,666	6,766	10,700	1.3	日土地	1	13,701.80	13,490.40	98.5
C6	UUR四谷三丁目ビル	4,200	4,354	7,060	0.9	不動研	3	7,854.86	7,854.86	100.0
C7	四谷213ビル	5,020	4,888	7,200	0.9	不動研	4	7,544.42	7,544.42	100.0
C9	コンフォートイン 東京六本木	4,488	4,699	3,650	0.4	不動研	3	3,708.47	3,708.47	100.0
C10	東横イン川崎駅前市役所通	2,655	2,557	3,210	0.4	大和	1	4,874.28	4,874.28	100.0
C11	東横イン広島平和大通	2,113	1,983	2,640	0.3	大和	1	4,357.75	4,357.75	100.0
C12	東横イン那覇国際通り 美栄橋駅	745	699	881	0.1	大和	1	1,529.47	1,529.47	100.0
C13	ロワジュールホテル &スパタワー那覇	20,000	19,701	22,000	2.7	不動研	1	45,731.16	45,731.16	100.0



物件 番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
C14	ロイヤルパインズホテル 浦和	17,500	17,427	17,100	2.1	不動産研	10	31,129.86	31,129.86	100.0
C15	リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	16,600	17,687	15,900	1.9	谷澤	31	81,372.50	80,899.50	99.4
C16	コンフォートイン 福岡天神	3,000	3,018	3,550	0.4	不動産研	2	3,567.22	3,567.22	100.0
C17	変なホテル東京 浜松町	4,456	4,366	4,760	0.6	不動産研	1	2,293.64	2,293.64	100.0
C18	ホテルヒューイット甲子園	13,520	13,865	13,700	1.7	谷澤	2	36,104.06	36,104.06	100.0
C19	スマイルホテルプレミアム 札幌すすきの	4,233	4,106	5,250	0.6	谷澤	1	8,332.04	8,332.04	100.0
C20	ザ・スクエアホテル金沢	4,802	4,829	5,950	0.7	谷澤	1	6,333.36	6,333.36	100.0
C21	リーガブレイス 京都四条烏丸 (注16)	2,010	2,068	2,580	0.3	谷澤	1	2,358.25	2,358.25	100.0
D1	T&G東池袋マンション	2,021	1,339	2,810	0.3	谷澤	121	2,665.59	2,483.97	93.2
D4	駒沢コート	1,680	1,439	2,520	0.3	不動産研	1	3,741.17	3,741.17	100.0
D6	UURコート芝大門	1,175	942	1,650	0.2	谷澤	1	1,486.38	1,486.38	100.0
D9	アプリーレ新青木一番館	3,031	2,264	4,110	0.5	不動産研	1	12,700.44	12,700.44	100.0
D10	UURコート札幌北三条	1,278	888	1,730	0.2	谷澤	1	4,790.50	4,790.50	100.0
D15	クリオ文京小石川	3,170	2,475	4,090	0.5	不動産研	88	4,097.51	3,958.70	96.6
D16	グランルージュ栄 (注10)	1,570	1,121	1,430	0.2	不動産研	85	3,697.38	3,293.91	89.1
D17	グランルージュ栄Ⅱ	1,300	923	1,260	0.2	不動産研	1	2,579.89	2,579.89	100.0
D18	MA仙台ビル	3,440	2,255	4,760	0.6	不動産研	141	11,525.36	11,054.72	95.9
D19	UURコート名古屋名駅	1,473	1,061	1,720	0.2	日土地	1	2,958.45	2,958.45	100.0
D21	パークサイト泉	900	788	770	0.1	不動産研	37	2,067.95	1,845.85	89.3
D22	UURコート大阪十三本町	1,570	1,134	1,950	0.2	不動産研	1	3,650.00	3,650.00	100.0
D23	UURコート錦糸町	2,900	2,690	4,170	0.5	不動産研	195	5,460.39	5,218.41	95.6
D24	UURコート札幌南三条 プレミアタワー	2,050	1,611	3,600	0.4	不動産研	137	7,763.18	7,499.53	96.6
D25	グランルージュ中之島南	1,380	1,145	1,790	0.2	不動産研	113	3,090.36	2,967.16	96.0
D26	グレンパーク梅田北	5,150	4,835	7,230	0.9	谷澤	173	12,730.60	11,972.83	94.0
D27	UURコート志木	2,730	2,776	3,320	0.4	不動産研	2	9,288.00	9,288.00	100.0
D28	グランルージュ谷町六丁目	1,300	1,347	1,600	0.2	谷澤	49	2,792.81	2,678.01	95.9
D29	シャトレ大手町S棟・N棟	3,398	3,558	4,030	0.5	不動産研	146	12,040.28	11,473.28	95.3
D30	グランフォンテ	2,700	2,866	3,780	0.5	谷澤	88	6,268.24	6,065.27	96.8
D31	パークアクシス赤塚	1,980	2,037	2,340	0.3	谷澤	153	4,370.31	4,219.35	96.5
D32	UURコート白鷺	1,442	1,527	1,830	0.2	谷澤	45	2,815.30	2,695.50	95.7
D33	コートブランシェA P	1,270	1,344	1,490	0.2	谷澤	38	1,480.17	1,344.64	90.8
D34	UURコート茨木東中条	1,665	1,761	1,840	0.2	谷澤	55	3,783.25	3,653.17	96.6
D35	アムール横浜	1,570	1,678	1,580	0.2	不動産研	35	2,272.73	2,210.97	97.3
D36	グランルージュ城東	1,755	1,869	1,860	0.2	大和	68	3,309.62	3,132.13	94.6
E1	リリカラ東北支店	2,050	1,250	2,370	0.3	日土地	1	9,271.16	9,271.16	100.0
E2	府中ビル (注11)	2,863	1,938	1,910	0.2	不動産研	1	5,479.15	5,479.15	100.0

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
E3	壺川スクエアビル	4,150	3,477	6,850	0.8	不動産研	5	10,570.98	9,977.86	94.4
E4	ザ プレイス オブ トウキョウ	3,500	3,220	4,800	0.6	不動産研	1	3,212.21	3,212.21	100.0
E5	ロジスティクス東扇島	9,525	9,235	12,400	1.5	不動産研	2	42,113.83	42,113.83	100.0
E6	第1・第2MT有明センター ビル	8,000	7,869	15,800	1.9	不動産研	1	23,856.74	23,856.74	100.0
E8	新習志野物流センター	2,555	2,615	3,110	0.4	不動産研	1	12,909.90	12,909.90	100.0
E9	川越物流センター	7,550	7,370	10,700	1.3	谷澤	1	40,060.76	40,060.76	100.0
E11	新習志野物流センターII	2,590	2,677	3,000	0.4	不動産研	1	12,598.46	12,598.46	100.0
E12	吉川物流センター	1,960	1,921	2,020	0.2	不動産研	1	11,096.70	11,096.70	100.0
E13	武蔵村山物流センター	1,800	1,846	2,170	0.3	不動産研	1	9,237.87	9,237.87	100.0
E14	千葉みなと物流センター (敷地)	6,600	6,934	8,530	1.0	谷澤	1	24,467.78	24,467.78	100.0
E15	枚方長尾物流センター	2,550	2,604	3,050	0.4	谷澤	1	11,874.51	11,874.51	100.0
E16	神戸遠矢浜物流センター	1,300	1,415	1,980	0.2	不動産研	1	9,402.93	9,402.93	100.0
E17	レッドウッド成田ディス トリビューションセンター	2,345	2,405	2,610	0.3	谷澤	2	21,445.46	21,445.46	100.0
E18	加須物流センターI・II	3,259	3,323	3,610	0.4	谷澤	2	12,777.19	12,777.19	100.0
E19	神戸西神物流センター	1,923	2,015	2,160	0.3	谷澤	1	9,533.88	9,533.88	100.0
E20	グランダ宮の森	1,423	1,645	1,640	0.2	谷澤	1	3,810.47	3,810.47	100.0
E21	KIC 狭山日高ディス トリビューションセンター	4,450	4,610	4,660	0.6	谷澤	1	15,113.07	15,113.07	100.0
E22	札幌米里物流センター	1,177	1,228	1,310	0.2	谷澤	1	7,389.49	7,389.49	100.0
合 計		688,901	658,627	825,465	100.0	—	3,069	1,632,781.16	1,606,392.37	98.4

(ii) 投資不動産の概要2

投資不動産の用途、年間賃料総額、預り敷金・保証金、地震リスク分析における予想最大損失率 (PML) 及び地震保険付保の有無は以下のとおりです。

(2023年5月31日時点)

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
A2	商業施設	ジョイパーク泉ヶ丘	362,935	241,764	10	有
A4	商業施設	Luz船橋	412,689	343,075	13	有
A6	商業施設	天神ルーチェ	393,048	352,678	2	有
A7	商業施設	テックランド堺本店	(注12)	(注12)	8	有
A8	商業施設	宮前ショッピングセンター	267,074	909,730	17	有
A9	商業施設	コナミスポーツクラブ香里ヶ丘	(注12)	(注12)	11	有
A10	商業施設	アクティオーレ南池袋	150,890	141,401	14	有
A11	商業施設	Tip's町田ビル	292,286	229,845	18	有
A12	商業施設	ダイエー宝塚中山店	(注12)	(注12)	9	有
A13	商業施設/ オフィスビル	maricom-ISOGO・システムプラザ横浜(敷地)	598,549	272,412	- (注13)	- (注13)
A14	商業施設	アクティオーレ関内	74,309	69,208	16	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
A15	商業施設	心齋橋OPA本館	1,362,000	1,448,304	12	有
A19	商業施設	アルポーレ神宮前	105,576	91,184	14.6	有
A20	商業施設	アルポーレ仙台	152,778	102,349	8	有
A21	商業施設	モラージュ柏	878,198	856,744	9	有
A23	商業施設	イトーヨーカドー尾張旭店	(注12)	(注12)	11	有
A24	商業施設	横浜狩場ショッピングセンター	(注12)	(注12)	12	有
A25	商業施設	Luz自由が丘	276,195	228,692	12	有
A26	商業施設	アクティオーレ市川	220,323	186,350	10	有
A27	商業施設	横浜青葉ショッピングセンター(敷地)	(注12)	(注12)	(注13)	(注13)
A28	商業施設	ヤマダ電機テックランド青葉店(敷地)	(注12)	(注12)	(注13)	(注13)
A29	商業施設	ヨドバシカメラマルチメディア吉祥寺	(注12)	(注12)	14	有
A30	商業施設	家電住まいる館YAMADA松戸本店	(注12)	(注12)	11	有
A31	商業施設	Luz福岡天神(注14)	115,270	256,752	1	有
A32	商業施設	鳴海ショッピングセンター(敷地)	(注12)	(注12)	(注13)	(注13)
A33	商業施設	ブラッシングウェーブ江の島	59,920	47,429	14	有
A34	商業施設	ライフ西九条店(敷地)	(注12)	(注12)	(注13)	(注13)
A35	商業施設	ライフ玉造店(敷地)	(注12)	(注12)	(注13)	(注13)
A36	商業施設	グランベル銀座ビル	150,048	130,254	10	有
A37	商業施設	UUR天神西通りビル	169,972	101,844	2	有
A38	商業施設	Luz湘南辻堂	459,158	319,054	14	有
A39	商業施設	アクティオーレ上野	126,810	92,461	12	有
A40	商業施設	くるる	425,462	356,441	7	有
A41	商業施設	ケーズデンキ名古屋北店	(注12)	(注12)	8	有
A42	商業施設	Luz武蔵小杉	503,524	1,008,149	11	有
A43	商業施設	LEVENおおたかの森	204,970	130,189	9	有
A44	商業施設	ガリバー八王子みなみ野店	(注12)	(注12)	12	有
B1	オフィスビル	T&G浜松町ビル	141,626	124,581	12	有
B3	オフィスビル	福岡アーセオンビル	213,523	132,214	1	有
B4	オフィスビル	麴町センタープレイス(注15)	166,136	196,866	11	有
B6	オフィスビル /ホテル	新大阪セントラルタワー	1,893,537	1,521,329	7	有
B7	オフィスビル	川崎東芝ビル	1,665,139	1,580,916	7	有
B8	オフィスビル	UUR東陽町ビル	372,704	380,080	13	有
B9	オフィスビル	フォーシーズンビル	313,776	260,968	11	有
B11	オフィスビル	パシフィックマークス新宿パークサイド	672,145	501,505	14.8	有
B13	オフィスビル	パシフィックマークス月島	438,506	228,529	14	有
B14	オフィスビル	パシフィックマークス横浜イースト	479,923	355,252	15	有
B17	オフィスビル	赤坂氷川ビル	216,228	244,216	14	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
B18	オフィスビル	パシフィックマークス渋谷公園通	168,000	100,500	12	有
B20	オフィスビル	パシフィックマークス赤坂見附	125,606	89,107	13	有
B22	オフィスビル	パシフィックマークス新横浜	118,321	80,328	16	有
B25	オフィスビル	パシフィックマークス川崎	618,393	482,807	17	有
B26	オフィスビル	浜松町262ビル	388,637	450,192	14	有
B27	オフィスビル	リーラヒジリザカ	226,758	159,648	12	有
B29	オフィスビル	大塚HTビル	96,109	78,142	13	有
B30	オフィスビル	パシフィックマークス新宿サウスゲート	182,415	194,476	12	有
B31	オフィスビル	パシフィックマークス西梅田	483,203	442,461	10	有
B32	オフィスビル	パシフィックマークス肥後橋	303,864	254,623	12	有
B35	オフィスビル	パシフィックマークス札幌北一条	228,459	192,595	1	有
B36	オフィスビル	新札幌センタービル	108,207	88,167	2	有
B37	オフィスビル	アリーナタワー	777,484	419,555	10	有
B38	オフィスビル	湯島ファーストビル	208,663	153,549	13	有
B39	オフィスビル	道玄坂スクエア	174,670	124,820	16	無
B40	オフィスビル	グランスクエア新栄	147,632	101,617	10	有
B41	オフィスビル	グランスクエア名駅南	160,599	123,903	10	有
B42	オフィスビル	芝520ビル	206,457	164,666	13	有
B43	オフィスビル	広瀬通SEビル	376,953	397,161	8	有
B44	オフィスビル /ホテル	SS30	1,888,647	1,340,272	2	有
B45	オフィスビル	L00P-X・M	873,143	521,031	7	有
B46	オフィスビル	虎ノ門ヒルズ 森タワー	(注12)	(注12)	1	有
B47	オフィスビル	虎ノ門PFビル	224,723	228,809	10	有
B48	オフィスビル	UUR京橋イーストビル	314,524	262,017	9	有
B49	オフィスビル	飯田橋プラザ	403,106	204,838	4	有
B50	オフィスビル	大阪ペイタワー	164,639	134,222	8	無
C1	ホテル	新宿ワシントンホテル本館	1,489,959	1,991,913	9	有
C2	ホテル	東横イン品川駅高輪口	114,000	70,000	17	有
C3	ホテル	MZビル	256,964	189,219	13	有
C4	ホテル	ホテルルートイン横浜馬車道	267,701	101,431	19	有
C5	ホテル	ホテルJALシティ那覇	(注12)	(注12)	5	有
C6	ホテル	UUR四谷三丁目ビル	327,448	115,770	14	有
C7	ホテル	四谷213ビル	350,916	246,257	13	有
C9	ホテル	コンフォートイン東京六本木	152,136	(注12)	12	有
C10	ホテル	東横イン川崎駅前市役所通	(注12)	(注12)	14.5	有
C11	ホテル	東横イン広島平和大通	(注12)	(注12)	7	有
C12	ホテル	東横イン那覇国際通り美栄橋駅	(注12)	(注12)	2	有
C13	ホテル	ロワジュールホテル&スパタワー那覇	(注12)	(注12)	7	有
C14	ホテル	ロイヤルパインズホテル浦和	(注12)	(注12)	10	有
C15	ホテル	リーガロイヤルホテル小倉・あるあるCity	1,255,203	1,522,786	1	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
C16	ホテル	コンフォートイン福岡天神	110,960	64,708	1	有
C17	ホテル	変なホテル東京 浜松町	(注12)	(注12)	14.8	有
C18	ホテル	ホテルヒューイット甲子園	(注12)	(注12)	9	有
C19	ホテル	スマイルホテルプレミアム札幌すすきの	(注12)	(注12)	1	有
C20	ホテル	ザ・スクエアホテル金沢	(注12)	(注12)	4	有
C21	ホテル	リーガプレイス京都四条烏丸 (注16)	(注12)	(注12)	8	有
D1	住居	T&G東池袋マンション	129,060	15,228	12	無
D4	住居	駒沢コート	106,920	35,640	11	無
D6	住居	UURコート芝大門	66,000	11,000	17	無
D9	住居	アプリーレ新青木一番館	(注12)	(注12)	8	無
D10	住居	UURコート札幌北三条	94,273	7,838	2	無
D15	住居	クリオ文京小石川	195,492	24,467	14.5	無
D16	住居	グランルージュ栄 (注10)	84,372	6,337	13	無
D17	住居	グランルージュ栄II	64,740	6,413	13	無
D18	住居	MA仙台ビル	270,223	16,352	11	無
D19	住居	UURコート名古屋名駅	88,095	7,381	16	無
D21	住居	パークサイト泉	50,040	6,145	12	無
D22	住居	UURコート大阪十三本町	100,854	9,454	16	無
D23	住居	UURコート錦糸町	216,302	34,947	14.8	無
D24	住居	UURコート札幌南三条プレミアタワー	179,453	57,351	1	無
D25	住居	グランルージュ中之島南	104,532	7,105	15	無
D26	住居	グレンパーク梅田北	347,832	36,086	15.5	無
D27	住居	UURコート志木	191,320	144,542	11	無
D28	住居	グランルージュ谷町六丁目	82,524	6,319	13	無
D29	住居	シャトレ大手町S棟・N棟	215,976	17,134	1	無
D30	住居	グランフォンテ	182,699	48,705	1	有
D31	住居	パークアクシス赤塚	98,287	22,427	12	無
D32	住居	UURコート白鷺	69,069	15,747	12	無
D33	住居	コートブランシェAP	63,660	16,562	13	無
D34	住居	UURコート茨木東中条	91,800	9,457	10	無
D35	住居	アムール横浜	70,164	6,111	12	無
D36	住居	グランルージュ城東	90,960	15,199	13	有
E1	その他	リリカラ東北支店	(注12)	(注12)	11	有
E2	その他	府中ビル (注11)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
E3	その他	壺川スクエアビル	407,486	273,096	8	有
E4	その他	ザ プレイス オブ トウキョウ	(注12)	(注12)	13	有
E5	その他	ロジスティクス東扇島	(注12)	(注12)	12	有
E6	その他	第1・第2MT有明センタービル	(注12)	(注12)	12	有
E8	その他	新習志野物流センター	(注12)	(注12)	10	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
E9	その他	川越物流センター	(注12)	(注12)	9	有
E11	その他	新習志野物流センターⅡ	(注12)	(注12)	9	有
E12	その他	吉川物流センター	(注12)	(注12)	8	有
E13	その他	武蔵村山物流センター	(注12)	(注12)	14	有
E14	その他	千葉みなと物流センター(敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
E15	その他	枚方長尾物流センター	(注12)	(注12)	8	有
E16	その他	神戸遠矢浜物流センター	(注12)	(注12)	7	有
E17	その他	レッドウッド成田 ディストリビューションセンター	(注12)	(注12)	7	有
E18	その他	加須物流センターⅠ・Ⅱ	(注12)	(注12)	8	有
E19	その他	神戸西神物流センター	(注12)	(注12)	6	有
E20	その他	グランダ宮の森	(注12)	(注12)	1	有
E21	その他	KIC狭山日高ディストリビューションセンター	(注12)	(注12)	7	有
E22	その他	札幌米里物流センター	(注12)	(注12)	1	有
合 計			43,383,170	33,733,852	5.84	

(注1) 「取得価格」は、当該不動産等の取得に要した諸費用(仲介手数料、公租公課等)を含まない金額(売買契約書等に記載された価格で、消費税等は含まれません。)について百万円未満を四捨五入して記載しています。

(注2) 「期末評価額」は、毎決算期末日を調査の時点とする鑑定評価額又は不動産鑑定士による鑑定評価と同様の手法を用いて行われる価格調査による価格です。

なお、「鑑定評価機関」は当該不動産等の取得時及び継続評価の際に当該不動産等の鑑定評価又は価格調査を行っている鑑定評価機関を記載しており、「不動研」は一般財団法人日本不動産研究所、「谷澤」は株式会社谷澤総合鑑定所、「日土地」は中央日土地ソリューションズ株式会社、「大和」は大和不動産鑑定株式会社を、それぞれ表します。

(注3) 「テナント数」、「賃貸可能面積」、「賃貸契約面積」及び「稼働率」は、2023年5月31日時点のデータに基づき記載しています。「賃貸可能面積」は個々の投資不動産の本投資法人の所有部分における賃貸可能な面積の合計を意味し、「賃貸契約面積」は賃貸可能面積のうち、実際に賃貸借契約が締結され賃貸が行われている面積の合計を意味します(なお、「賃貸可能面積」及び「賃貸契約面積」の数は、原則として各契約書、プロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書又は月次報告書の数値であり、各契約書記載の数値は、建物の延床面積相当の数値、登記簿記載の床面積相当の数値、専有面積相当の数値、施工床面積相当の数値又はプロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書若しくは月次報告書に記載されている数値等を根拠としています。)。なお、第三者との間で投資不動産を共有している共有物件については、本投資法人以外の者と共有している部分についても、当該部分全体の面積を用いて「賃貸可能面積」及び「賃貸契約面積」を算出しています。また、「稼働率」は「賃貸契約面積」÷「賃貸可能面積」の式で求めた百分率によります。

(注4) 「テナント数」は、各物件において所有者である本投資法人又は各信託受託者との間で直接賃貸借契約等(貸室の一部又は全部が転貸を目的として一括して賃貸に供され、当該賃貸借契約(マスター・リース契約)における賃借人がエンドテナントに対し当該貸室の転貸を行う契約を含む。)を締結している賃借人を1テナントとして算出しています。ただし、マスター・リース契約における賃借人から受領する賃料が、当該賃借人がエンドテナントから受領する賃料と同額とされているいわゆるパス・スルー型の場合は、エンドテナント数を集計しています。また、1テナントが同一投資不動産において複数の貸室を賃借している場合は1テナントとして、複数物件にわたる場合は複数テナントとして算出しています。ただし、パス・スルー型の住宅物件については、賃貸戸数を記載しています。

(注5) 「賃貸契約面積」は、原則としてエンドテナントの賃貸契約面積を記載しています。ただし、マスター・リース契約のうち、パス・スルー型に該当しない契約の賃貸契約面積については、マスター・リース契約の面積又はプロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書若しくは月次報告書における面積を記載しています。

(注6) 「年間賃料総額」は、2023年5月31日時点で有効な契約上の月間賃料(貸室賃料及び共益費合計)を12倍して千円未満を切捨てて記載しています。なお、一定期間賃料が免除されているテナントについては、当該免除期間は考慮しておらず、また、期間に応じて賃料が段階的に増額される旨の定めがある場合には、2023年5月31日時点で適用される金額を用いています。「年間賃料総額」の算定には変動賃料は含まれておらず、そのため、本表記載の金額と、実際の年間賃料収入の総額とは必ずしも一致しません。また、2023年5月31日時点でテナントとの間で賃料増減額請求があった場合においても、上記「年間賃料総額」の算定にあたっては当該請求の内容は考慮せず、2023年5月31日時点で有効な契約上の月間賃料(貸室賃料及び共益費合計)を12倍して千円未満を切捨てた金額を記載しています。

(注7) 「預り敷金・保証金」は、2023年5月31日時点のデータに基づき記載しています。なお、「預り敷金・保証金」は、貸室部分、駐車場部分、倉庫部分、看板部分等の敷金を含み、千円未満を切捨てて記載しています。

(注8) 「PML」(地震リスク分析における予想最大損失率)は、清水建設株式会社作成の地震リスク評価報告書に基づいています。また、「PML」の合計欄は、ポートフォリオ全体のPMLを記載しています。なお、複数の建物で構成される物件に係るPMLについては、地震リスク評価報告書に物件全体としての数値の表示がある場合、当該数値を記載しています。

(注9) 指定調査機関による本件土地に係る2007年1月の土壤環境調査報告書においては、ダイエー宝塚中山店に係る土地のほぼ全地点より鉛溶出量、砒素溶出量、ふっ素溶出量が指定基準を超過する濃度で確認されるものの、当該敷地内について直接的な健康被害の可能性はないと考えられる旨記載されています。本投資法人は、将来土壤改良の必要が生じる場合に備え前所有者において将来の土壤改良に係る必要コストとして追加信託した630百万円(以下「土壤改良積立金」といいます。)を、本物件を取得するにあたり信託受益権譲渡契約にお

いて承継しており、当該信託受益権の「期末帳簿価額」は、かかる追加信託の金額を反映しています。なお、土壌改良の必要性が当面の間限りなく低いと思われること、及び資金効率向上の観点に鑑み、信託受託者から土壌改良積立金の交付を受けています。

- (注10) グランルージュ栄については、2023年6月1日付で譲渡しました。  
 (注11) 府中ビルについては、2022年3月31日付で建物部分を譲渡しました。そのため、当期末時点において、本投資法人は本物件の土地部分のみを保有していることから、「取得価格」については本投資法人の当初取得時における土地価格を記載しています。なお、2024年1月31日付で土地部分の譲渡を予定しています。  
 (注12) 賃貸借契約（予約賃貸借契約も含みます。）を締結したテナントより賃料収入等を開示することにつき同意を得られていないことから、やむを得ない事情により開示できない場合として、記載していません。  
 (注13) 土地（敷地）のみを保有しているため、PMLに係る該当事項はありません。  
 (注14) 2023年4月1日付で「天神ロフトビル」から「Luz福岡天神」に名称変更しています。  
 (注15) 2022年12月1日付で「丸増麹町ビル」から「麹町センタープレイス」に名称変更しています。  
 (注16) 2023年4月1日付で「ネストホテル京都四条烏丸」から「リーガプレイス京都四条烏丸」に名称変更しています。

③ テナントに関する情報

賃貸契約面積における上位10位までのテナントは以下のとおりです。

(2023年5月31日時点)

NO.	テナント名	物件名	賃貸契約面積 (㎡) (注1)	年間賃料総額 (千円) (注2)	賃貸借契約終了日
1	株式会社リーガロイヤル ホテル小倉	・リーガロイヤルホテル 小倉・あるあるCity	58,297.75	(注3)	2025年3月31日
2	株式会社イトーヨーカ堂	・イトーヨーカドー尾張旭店	54,606.34	(注3)	(注4)
3	SBSロジコム株式会社	・川越物流センター ・吉川物流センター	51,157.46	(注3)	・川越物流センター 2027年8月31日 ・吉川物流センター 2027年7月26日
4	藤田観光株式会社	・新宿ワシントンホテル本館	49,352.65	1,342,866	2024年1月31日他 (注5)
5	ユニー株式会社	・鳴海ショッピングセンター (敷地)	46,362.44	(注3)	2044年11月19日他 (注5)
6	株式会社ロワジュール・ ホテルズ沖縄	・ロワジュールホテル &スパタワー那覇	45,731.16	(注3)	2026年3月31日
7	株式会社ヨドバシカメラ	・ヨドバシカメラ マルチメディア吉祥寺	37,932.95	(注3)	2037年5月31日
8	東芝デバイス &ストレージ株式会社	・川崎東芝ビル	36,142.30	1,665,139	2024年6月1日 (注6)
9	ロテルド甲子園株式会社	・ホテルヒューイット甲子園	33,704.06	(注3)	2028年10月31日
10	株式会社ヤマダ ホールディングス	・テックランド堺本店 ・maricom-ISOGO・システム プラザ横浜 (敷地) ・ヤマダ電機テックランド 青葉店 (敷地)	32,336.20	(注3)	・テックランド堺本店 2030年5月9日 ・maricom-ISOGO・システムプラザ横浜 (敷地) 2030年11月30日他 (注5) ・ヤマダ電機テックランド青葉店 (敷地) 2040年5月31日

- (注1) 原則として、賃貸借契約書、プロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書又は月次報告書等に記載されている面積です。なお、各契約書に記載されている数値は、建物の延床面積相当の数値、登記簿記載の床面積相当の数値、専有面積相当の数値、施行床面積相当の数値又はプロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書若しくは月次報告書に記載されている数値等を根拠としています。また、賃料保証がないマスター・リース契約の場合は、本投資法人又は信託受託者が締結しているテナントベースではなく、実際に建物等を賃借し使用しているエンドテナントベースで集計しています。  
 (注2) 2023年5月31日時点で有効な契約上の月額賃料（貸室賃料及び共益費合計）を12倍して千円未満を切捨てて記載しています。なお、一定期間賃料が免除されているテナントについては、当該免除期間は考慮しておらず、また、期間に応じて賃料が段階的に増額される旨の定めがある場合には、2023年5月31日時点で適用される金額を用いています。「年間賃料総額」の算定には変動賃料は含まれておらず、そのため、本表記載の金額と、実際の年間賃料収入の総額とは必ずしも一致しません。また、2023年5月31日時点でテナントとの間で賃料増減額請求があった場合においても、上記「年間賃料総額」の算定にあたっては当該請求の内容は考慮せず、2023年5月31日時点で有効な契約上の月額賃料（貸室賃料及び共益費合計）を12倍して千円未満を切捨てた金額を記載しています。  
 (注3) 賃貸借契約（予約賃貸借契約も含みます。）を締結したテナントより賃料収入等を開示することにつき同意を得られていないことから、やむを得ない事情により開示できない場合として、記載していません。  
 (注4) 2018年11月11日付で、イトーヨーカドー尾張旭店の賃貸借契約は更新期日が到来していますが、2023年5月31日時点において、テナントとの間では賃貸借契約更改手続きが未了であり、賃貸借契約終了日は確定していません。  
 (注5) 複数の賃貸借契約を締結しているため、代表的な賃貸借契約の終了時期を記載しています。  
 (注6) 本テナントより定期建物賃貸借契約を2024年6月1日付で解約する旨の通知を受領しています。

## (2) 資本的支出の状況

## ① 資本的支出の予定

本投資法人が運用する投資不動産に関し、当期末時点で計画されている改修等に伴う資本的支出の予定額のうち、主要なものは以下のとおりです。なお、工事予定金額には会計上の費用に区分される部分が含まれていません。

不動産等の名称	所在地	目的	予定期間	工事予定金額 (百万円)		
				総額	工事金額	既払総額
Luz福岡天神	福岡県福岡市	エレベーター及びエスカレーター更新工事	自 2023年 3月 至 2023年11月	242	242	—
Luz福岡天神	福岡県福岡市	外壁貸付関連工事	自 2023年 3月 至 2023年11月	1,010	1,010	—
Luz福岡天神	福岡県福岡市	外構及びサイン工事	自 2023年 3月 至 2024年 1月	121	121	—
新大阪セントラルタワー	大阪府大阪市	受変電設備更新工事	自 2023年 6月 至 2023年11月	108	108	—
S S30	宮城県仙台市	空調設備更新工事	自 2023年 6月 至 2024年 5月	203	203	—
S S30	宮城県仙台市	ホテル棟 地下1階 リニューアル工事	自 2023年 6月 至 2023年 7月	347	347	—
新宿ワシントンホテル本館	東京都新宿区	1階～地下1階 貸付工事	自 2023年 7月 至 2023年11月	150	150	—
ロワジュールホテル &スパタワー那覇	沖縄県那覇市	本館 厨房リニューアル工事 (第1期)	自 2023年 7月 至 2023年11月	172	172	—
ロワジュールホテル &スパタワー那覇	沖縄県那覇市	本館 厨房リニューアル工事 (第2期)	自 2023年12月 至 2024年 5月	159	159	—
ホテルヒューイット甲子園	兵庫県西宮市	エレベーター更新工事	自 2023年10月 至 2024年 3月	111	111	—
ザ プレイス オブ トウキョウ	東京都港区	空調機器更新工事	自 2023年 6月 至 2023年 8月	137	137	—
ザ プレイス オブ トウキョウ	東京都港区	内装リニューアル工事	自 2023年 6月 至 2023年 8月	303	303	—



## ② 期中に行った資本的支出

本投資法人が当期中に投資不動産に対して実施した資本的支出の額は以下のとおりです。当期における資本的支出は2,443百万円であり、当期費用に区分された修繕費1,322百万円と合わせ、3,766百万円の工事を実施しています。

不動産等の名称	所在地	目的	期間	工事金額 (百万円)
テックランド堺本店	大阪府堺市	外壁改修工事	自 2023年 1月 至 2023年 3月	34
イトーヨーカドー尾張旭店	愛知県尾張旭市	防災監視盤更新工事	自 2023年 2月 至 2023年 5月	33
Luz湘南辻堂	神奈川県藤沢市	外壁及び共用部改修工事	自 2023年 1月 至 2023年 3月	215
Luz湘南辻堂	神奈川県藤沢市	5階 区画形成工事	自 2022年12月 至 2023年 1月	33
くるる	東京都府中市	空調設備更新工事	自 2023年 5月 至 2023年 5月	105
S S 30	宮城県仙台市	オフィス棟 熱源機器更新工事 (第1期)	自 2021年11月 至 2023年 5月	181
ロワジールホテル &スパタワー那覇	沖縄県那覇市	本館 更衣室改修工事	自 2023年 1月 至 2023年 5月	70
ロイヤルパインズホテル浦和	埼玉県 さいたま市	空調設備(冷温水発生機)更新工事	自 2022年12月 至 2023年 3月	68
リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	福岡県北九州市	非常用エレベーター更新工事	自 2023年 1月 至 2023年 3月	128
リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	福岡県北九州市	非常用放送設備更新工事	自 2023年 5月 至 2023年 5月	54
リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	福岡県北九州市	空調設備更新工事(一部フロア)	自 2023年 2月 至 2023年 5月	30
ホテルヒューイット甲子園	兵庫県西宮市	本館 空調設備更新工事	自 2022年10月 至 2023年 5月	198
ホテルヒューイット甲子園	兵庫県西宮市	本館 受水槽更新工事	自 2023年 1月 至 2023年 4月	56
その他の資本的支出				1,232
合 計				2,443

## ③ 長期修繕計画のために積立てた金銭

本投資法人は、物件毎に策定している長期修繕計画に基づき、期中のキャッシュ・フローの中から、中長期的な将来の大規模修繕等の資金支払いに充当することを目的とした修繕積立金を、以下のとおり積立てています。

(単位：百万円)

営業期間	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期
項目	自 2020年12月 1日 至 2021年 5月31日	自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日	自 2021年12月 1日 至 2022年 5月31日	自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日	自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日
当期首積立金残高	1,610	1,681	1,703	1,839	1,836
当期積立額(注)	72	21	183	0	68
当期積立金取崩額	1	-	47	3	7
次期繰越額	1,681	1,703	1,839	1,836	1,898

(注) 信託受益権の売買に伴い、従前の所有者が信託財産内において積立てた積立金の全部又は一部を承継した場合、当該承継額を当期積立額に含めて記載しています。